資料5

第３期静岡市スポーツ推進計画
（案）

10.26　現在

はじめに　市長挨拶

目　　次

第１章　スポーツ推進計画策定にあたり

１．スポーツの定義 …… ２

２．計画策定の趣旨 …… ３

３．静岡市の特徴 …… ４

４．計画の位置づけと関連計画 …… ５

５．スポーツが健康にもたらす効果 …… ８

６．静岡型スポーツ・イン・ライフ …… ９

第２章　現状と課題

１．第２期静岡市スポーツ推進計画(2023-2030)の検証 …… １１

２．スポーツに関する市民意識調査の結果 …… １５

３．第３期静岡市スポーツ推進計画へ組み込む視点 …… ３５

第３章　スポーツ推進計画の構成

１．本計画の基本理念 …… ３７

２．基本方針 …… ３８

３．施策体系図 …… ３９

４．基本方針に対する施策や取組事業 …… ４０

基本方針１　ライフステージに応じた健康・ウェルビーイング向上

基本方針２　スポーツに親しむための環境整備

基本方針３　多様な主体との共働・共創によるスポーツの推進

基本方針４　ユニバーサルスポーツの聖地化推進による共生社会の実現

基本方針５　スポーツ資源を活用した地域経済の活性化と地域の魅力向上

第４章　基本理念達成に向けて静岡市と共働する団体

１．公益財団法人　静岡市スポーツ協会 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ５５
２．公益財団法人　静岡市まちづくり公社 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ５６
３．一般社団法人　ユニバーサルスポーツしずおか ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ５７
４．民間事業者 ・・・ ５８
５．スポーツ推進委員 ・・ ５８
６．ホームタウンチーム ・・ ５９

資料

市内スポーツ施設一覧 ・・ ６１

第1章　表紙

１．スポーツの定義

「Sport(スポーツ)」の語源は「deportare」(デポルターレ)という「運び去る、運搬する」の意味を持つラテン語だとされています。この意味が転じて、日々の生活から離れる気晴らしや遊び、楽しみや休養といったことを指すようになったと言われています。また、スポーツ庁が定める第３期スポーツ基本計画では「スポーツ」は“「する」「みる」「ささえる」という様々な形での「自発的な」参画を通して、「楽しさ」や「喜び」を感じることに本質を持つもの”と定義しています。

このようなスポーツの定義を整理すると、人とスポーツとの関わり方には「する・みる・ささえる」といった様々な形があり、どのような形であっても、スポーツは楽しさや喜びを通じて人生を豊かにするものであるといえます。加えて、「スポーツ」という言葉が示す範囲を幅広く捉えることもできます。

そこで、静岡市では集団で行う競技スポーツや一人で楽しむランニングをはじめ、散歩や体操のような軽運動、意識的に身体を動かす生活活動(身体活動の一部で、日常生活における家事・労働・通勤・通学などに伴う活動)もスポーツに含めることとします。このように捉えれば、スポーツは私たちにとって身近なものであると感じることができます。

さらに近年では、デジタル技術の進展により、スポーツ活動における情報通信技術(ICT)の活用が広がるとともに、心身の健康の保持増進や安全確保に配慮したｅスポーツなど、新たなスポーツのあり方が広がっています。

２．計画策定の趣旨

スポーツは、健康増進や体力向上に加え、地域コミュニティの活性化、多様な交流の促進、さらには地域経済の活性化など、豊かな地域社会の実現に向けて重要な役割を担っています。

国では、「第４期スポーツ基本計画(2027-2031)」に基づき、「スポーツの『楽しさ』で人や地域の可能性を引き出し、未来を切り拓く」を計画の狙いとして取組を推進しています。また、静岡県では、「(第４期)静岡県スポーツ推進計画(2025-2028)」及び「しずおかスポーツ産業ビジョン(2025-2035)」に基づき、「オールしずおかで実現するスポーツによる県民のウェルビーイング向上」と「スポーツ・コネクティッド・フィールド（スポーツによって、人、企業、地域等が繋がり、新しい価値が常に創造される）の実現」に向けた取組を進めています。

そして静岡市では、危機的な人口減少などの社会環境の急激な変化を踏まえ、2026年に市の最上位計画である「第５次静岡市総合計画(2026-2035)」を策定しました。「誰もが安心して暮らし、幸せを実感し、住み続けたいと感じられるまち」を目指すまちと暮らしの姿に掲げ、共創によるまちづくりを通じて、市民一人ひとりが安心と幸せを実感できる社会の実現を目指しています。

こうした国・県の動向や第５次静岡市総合計画との整合を図るとともに、スポーツを通じた市民の健康増進と地域経済の活性化を推進するため、第２期静岡市スポーツ推進計画(2023-2030)の期間内の部分的な見直しではなく、新たに「第３期静岡市スポーツ推進計画(2027-2035)」を策定することとしました。

３．静岡市の特徴

静岡市は、温暖な気候と南アルプスから駿河湾まで広がる豊かな自然環境に恵まれ、四季を通じて多様なスポーツを楽しむことができるまちです。

また、静岡市にはサッカーや野球をはじめとするホームタウンチームが活動しています。ホームタウンチームによる地域貢献活動や学校・企業との連携は、市民のスポーツ参加を促進するとともに、地域への愛着や誇りの醸成、世代を超えた交流の創出につながっています。こうした取組を通じて多くの市民がスポーツを「する」「みる」「ささえる」機会が広がっています。

さらに、静岡市は首都圏と中京圏の中間に位置し、新幹線や高速道路、港湾など多様な交通インフラを有し、首都圏・中京圏・甲信地方へのアクセスに優れているため、物流や人の移動において高い利便性を誇ります。加えて、歴史と文化が残る静岡都心と、富士山や駿河湾を望む景観を有する清水都心を中心に、魅力ある中心市街地を有しています。

静岡市には、困っている人に自然と手を差し伸べる人の温かさと、祭りや伝統行事を通じて育まれてきた人と人とのつながりがあります。また、電気機械器具産業や模型産業をはじめとするものづくり産業、物流関連産業に加え、豊かな自然環境を背景とした農林水産業、海洋産業、観光産業など、多様な産業が集積しています。

こうした豊かな自然環境、スポーツ資源、都市機能、人材・産業の集積は、スポーツを通じた市民の健康増進と地域経済の活性化を進める上で、静岡市の大きな強みとなっています。

４．計画の位置づけと関連計画

1 第５次静岡市総合計画【2026 年度～2035 年度】

第５次静岡市総合計画は、静岡市のまちづくりの基本的な方向性を示す最上位計画であり、市政運営の指針となる計画です。「誰もが安心して暮らし、幸せを実感し、住み続けたいと感じられるまち」を目指すまちと暮らしの姿に掲げ、共創によるまちづくりを通じて、市民一人ひとりが安心と幸せを実感できる社会の実現を目指しています。

（１）静岡市の現状と課題解決の考え方

●静岡市の課題「人口減少」

静岡市では、他の同規模の政令指定都市と比べて人口減少が進んでおり、静岡市独自の方法による将来人口の推計では、2050 年の人口は 2025 年より約 30%減少すると見込まれています。



しかし、若年層の流出を抑え、転入を促し、若い世代が市内に定着すれば、社会増となり、将来的な自然増につながります。こうした考え方から、静岡市は人口流出の抑制と流入の促進を両輪とした施策を進め、人口減少対策に取り組むことで、減少幅を、現在見込まれる約 30%から約 20%に抑えることを目指し、2050 年の人口目標を 55 万人以上に設定しました。

●共働・共創によるまちづくり

人口減少や気候変動、地域の稼ぐ力の停滞などに加えて、世界経済の不確実性という外部要因も重なり、静岡市が抱える社会課題は複雑化・深刻化・多様化しています。こうした課題の解決は、行政だけの力では不可能であり、市民・地域社会・企業・教育機関・行政などの共働・共創が不可欠です。

社会にある様々な力が集まり、つながり、うまく働き、動くようになれば、社会全体に変化が起こり、社会課題の根本的な解決を実現することにつながります。

2 改正スポーツ基本法(2025 年９月～)

スポーツ基本法の制定から 14 年を経過し、この間、少子高齢化・人口減少をはじめ、スポーツを取り巻く社会環境は大きく変化しました。これら環境の変化を踏まえ、スポーツを通じた社会課題の解決に期待が高まっている現状に対応するとともに、ウェルビーイングの向上に向け、スポーツ権の実質化を図る観点から、2025 年６月(スポーツ基本法の制定から 14 年、スポーツ庁の創設から 10 年)、スポーツ基本法は改正され、同年９月１日より施行されました。

１　前文の改正

①「する・みる・ささえる」に加えて、新たに「集い・つながる」が追加されました。

②スポーツと文化芸術等の他分野との連携がウェルビーイングの向上につながる旨が追加されました。

２　基本的施策の充実

①まちづくりとの一体的なスポーツ施設の整備等

一体的なスポーツ施設の整備等による地域経済の活性化や地域内外の交流促進を通じた活力ある地域社会の形成に努める必要があります。

② スポーツの公正及び公平の確保（スポーツインテグリティの確保）

「暴力」や「ハラスメント」等によりスポーツを行う人の環境が害されないよう努める必要があります。

③デジタル技術の活用等（スポーツ DX、e スポーツ）

スポーツ団体と連携して、デジタル技術を活用したスポーツ機会の充実に努める必要があります。

④気候変動への対応

熱中症対策等の気候変動に留意した環境整備等の必要な措置を講じるよう努める必要があります。

3 第４期スポーツ基本計画(スポーツ庁)【2027 年度～2031 年度】

第４期スポーツ基本計画は、スポーツ基本法に基づいてスポーツ庁が策定した、今後の日本のスポーツ政策の方向性を示す計画です。「スポーツの『楽しさ』で人や地域の可能性を引き出し、未来を切り拓く」を計画の狙いとしています。

重点課題

①国民のスポーツ実施促進と「健康インフラ」構築を通じた、
ウェルビーイングの向上や経済成長・豊かな社会の実現への貢献

②ハイパフォーマンスの追求とアスリート等を取り巻く環境整備による、成果・知見の社会への還元

③スポーツの意義や価値を生かした地域・社会への貢献

重点課題の取組を通じて、人々がスポーツの楽しさや意義を実感し、人や地域が持つ可能性が引き出され、スポーツを活用した社会課題の解決につながり、未来が切り拓かれていくことを目指します。

4 静岡県スポーツ推進計画【2025 年度～2028 年度】

静岡県スポーツ推進計画は、県民一人ひとりが生涯にわたりスポーツに親しみ、心身の健康や生きがい、地域とのつながりを育むことを目指した計画です。基本理念である「オール静岡で実現する、スポーツによる県民のウェルビーイングの向上」のもと、県、市町、学校、企業、スポーツ団体などが連携し、誰もがスポーツに参加しやすい環境づくりを進めます。

基本方針

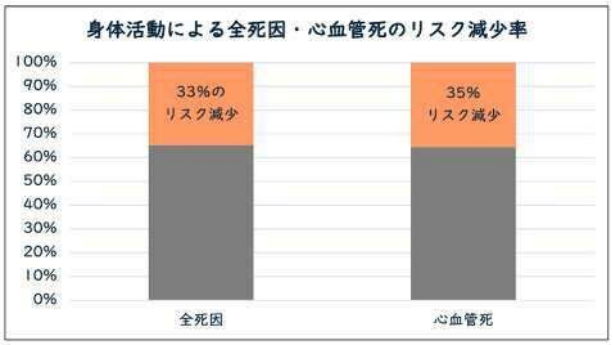
①スポーツによる豊かで、幸せな暮らし・社会の実現

②スポーツの魅力による地域活力の醸成

基本方針のもと、ライフステージや障がいの有無にかかわらず、誰もがスポーツに親しめる機会の充実を図るとともに、競技力向上やトップアスリートの育成を推進します。また、スポーツ大会や合宿の誘致、スポーツツーリズムの推進などを通じて、地域のにぎわいや交流を創出し、スポーツの力による豊かな暮らしと活力ある地域づくりを目指しています。

５．スポーツが健康にもたらす効果

スポーツが健康にもたらす効果について、スポーツ庁は 2023 年度に「スポーツが健康にもたらす効果等のエビデンスに関する調査研究」を実施しました。本調査研究では、科学的な研究結果を基に、次の５つの観点から報告しています。



①成人の身体的健康にもたらす影響

身体活動は、全死因死亡や心血管死亡のリスク低下、姿勢バランスの向上、肥満予防などにつながることが報告されています。

②高齢者の身体的健康にもたらす影響

スポーツへの参加は、心肺機能や身体機能の向上、脂肪量の減少に加え、フレイル（心身の活力が低下した状態）やサルコペニア（加齢に伴う筋肉量・筋力の低下）の予防、睡眠の質の改善にもつながることが報告されています。

③女性（高齢女性）の身体的健康にもたらす影響

適切な運動は、骨密度やバランス能力の改善、転倒リスクの低下、筋力や柔軟性の向上に加え、QOL（生活の質）の向上や骨粗鬆症の予防にも効果が期待されています。

④精神的健康にもたらす影響

身体活動は、うつ病のリスク低下と関連することが報告されています。また、スポーツを取り入れた活動は、働く世代の仕事とプライベートの切り替えを促し、健康や心理面によい影響をもたらす可能性があります。

⑤社会的健康にもたらす影響

運動習慣は、自分自身の健康状態を良好と感じる「主観的健康観」や、生きがいの向上と関連することが報告されています。

このように、スポーツは身体的・精神的・社会的な健康を支え、健康寿命の延伸やウェルビーイングの実現につながることが期待されます。

出典：スポーツ庁「2023 年度 スポーツが健康にもたらす効果等のエビデンスに関する調査研究」

６．静岡型スポーツ・イン・ライフ

スポーツ庁では、2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を新たなスタート地点として、一人でも多くの方にスポーツを楽しんでいただき、スポーツを行うことが生活習慣の一部となるような社会を目指し、「Sport in Life プロジェクト」に取り組んでいます。

静岡市では、第２期静岡市スポーツ推進計画において、スポーツを、競技や運動などの「する」だけでなく、スポーツ観戦などの「みる」、大会運営やボランティア活動などの「ささえる」を含むものと捉え、これら３つの関わり方をバランスよく取り入れることが重要であると考えました。そして、「する・みる・ささえる」が相互に融合し、好循環を生み出すという考え方にスポーツ庁の「Sport in Life」を取り入れた「静岡型スポーツ・イン・ライフ」を掲げ、様々な施策を推進してきました。

第３期静岡市スポーツ推進計画においても、この考え方を継承させ、スポーツ団体、ホームタウンチーム、企業、大学、地域など多様な主体が連携しながら、市民一人ひとりが日常的にスポーツに親しみ、多様な形でスポーツに関わることができる「静岡型スポーツ・イン・ライフ」を推進します。

第２章　表紙

１．第２期静岡市スポーツ推進計画(2023-2030)の検証

「スポーツが持つ力で、誰もが健康で豊かな生活を実現する」を基本理念に基本方針、施策の柱、基本施策という３層構造により取組を実施しました。

基本方針１　誰もが楽しむことができるスポーツの推進
基本方針２　スポーツに日常的に親しむための環境整備
基本方針３　スポーツを通した人々の交流による地域の活性化

(１)第２期静岡市スポーツ推進計画の評価・成果

【基本方針１　施策の柱１】ライフステージに応じたスポーツの推進

(指標)16 歳以上の週１日以上のスポーツ実施率
2021 年度　55.9%　2025 年度　60.0%　2030 年度　70%(目標)

計画策定時から 4.1 ポイント増加し、2025 年度には 60.0%となり、国の 51.7%を上回っています。一方、働く世代の実施率は依然として低いため、ライフステージに応じた機会の充実や企業との連携により、運動習慣の定着を図る必要があります。

【基本方針１　施策の柱２】スポーツを通した地域・他分野との連携

(指標)市内スポーツイベントに参加したことがある人の割合
2021 年度　38.4%　2025 年度　39.2%　2030 年度　50%(目標)

計画策定時から 0.8 ポイントの増加となりました。スポーツイベントは、市民がスポーツに親しむ契機となるだけでなく、地域コミュニティの形成や交流人口の拡大にも寄与します。今後は、効果的な情報発信に加え、ホームタウンチームや企業、大学等と連携した魅力あるイベントを開催し、参加機会の充実を図る必要があります。

【基本方針２　施策の柱１】スポーツを支えるための場づくり

(指標)公共スポーツ施設を利用したことがある市民の割合
2021 年度　17.6%　2025 年度　18.7%　2030 年度　30%(目標)

計画策定時から 1.1 ポイント増加しました。スポーツ施設は、市民が継続的にスポーツに親しむための基盤であることから、計画的な改修やバリアフリー化を進めるとともに、教室やイベントの充実により、利用機会の拡大を図る必要があります。

【基本方針２　施策の柱２】スポーツを支えるための人づくり

(指標)スポーツに関するボランティアに参加している人の延べ人数
2021 年度　 1.5%　2025 年度　 18,937 人　2030 年度　 15,000 人(目標)
※2025 年度に調査項目変更

静岡マラソンをはじめとするスポーツイベントにおいて、多くの市民がボランティアとして参加したことにより、2025 年度に目標を達成しました。一方で、市民意識調査では「スポーツをささえる活動を行ったことがある市民」の割合は 13.0%にとどまり、「するスポーツ」(60.0%)や「みるスポーツ」(85.7%)と比較して低い状況です。今後は、市民がスポーツを「ささえる」活動に参加しやすい環境づくりを進める必要があります。

【基本方針３　施策の柱１】スポーツツーリズムによる MICE の推進

(指標)市外から各種大会に参加する人の数
2021 年度　 3,766 人　2025 年度　 17,894 人　2030 年度　 20,000 人(目標)

計画策定時と比較して大幅に増加しました。今後は、参加者数の増加に加え、宿泊や観光、飲食等への波及効果を高めることで、スポーツツーリズムを通じた交流人口の拡大と地域経済の活性化につなげていく必要があります。

【基本方針３　施策の柱２】ホームタウン活動の推進

(指標)ホームタウンチームを応援している・関心がある市民の割合
2021 年度　 69.1%　2025 年度　 71.6%　2030 年度　 75%(目標)

計画策定時から 2.5 ポイント増加し、市民のホームタウンチームへの関心は着実に高まっています。また、計画期間中には静岡ジェードやハヤテベンチャーズ静岡が誕生し、市民がスポーツに触れ、応援する機会が広がりました。今後は、静岡市の強みであるホームタウンチームとの連携をさらに強化し、スポーツを通じた地域活性化や交流人口の拡大につなげていく必要があります。

（２）第２期期間中の代表的な取組

【基本方針１】

事業名	事業内容
スポーツインストラクターの派遣	市の機関等からの依頼により、地域施設等でのスポーツ教室へインストラクターを派遣することで、体を動かす楽しさを伝えます。
指定管理施設での幼児や小学生を対象としたスポーツ教室の開催	幼児や小学生を対象としたスポーツ教室を開催し、子どもの体力向上やスポーツに親しむきっかけを作ります。
静岡型スポーツ・イン・ライフ推進パートナー認定制度	社員等が行うスポーツ活動への支援や推進に取り組む企業・団体を認定、表彰します。

【基本方針２】

事業名	事業内容
スポーツ施設改修事業	静岡市スポーツ施設配置適正化方針による個別施設計画に基づく改修を行い、施設の長寿命化を図ります。
市民スポーツ大会の開催	年代や性別等を問わず多くの市民が参加できるよう、様々な種目を競技するスポーツ大会を開催し、市民へのスポーツ普及や競技力向上を図ります。
障がい者スポーツへの理解促進	パラスポーツを体験できる場を設けたスポーツイベントを開催することで、パラスポーツに親しむきっかけを作るとともに、誰もが楽しめるスポーツであることを知ってもらいます。

【基本方針３】

事業名	事業内容
静岡マラソンの開催支援	地域経済の活性化及び市民のスポーツ振興やまちづくりの推進を図ります。
合宿の誘致及び受入れ	主に国内における各種競技のトップチームを対象として、合宿の誘致活動の実施及び受入時の支援をすることで、継続的な合宿の受入を目指すとともに、地域経済の活性化を図ります。

事業名	事業内容
全国少年少女草サッカー大会の開催支援	全国少年少女草サッカー大会の開催を支援するほか、大会参加者へ「サッカーのまち静岡」の情報を発信します。さらに、大会の開催を通じて、小学生世代の選手育成及び全国から集まる選手との交流を深めます。
ホームタウンチームと連携したスポーツ教室	子どもの健全育成や各チームの応援機運醸成に向け、各チームの選手・コーチによるサッカー、バスケットボール等の技術指導や交流事業を行うスポーツ教室を、フォッサ・サッカーのまち市民協議会等と連携し開催します。

２．スポーツに関する市民意識調査の結果

本計画策定の基礎資料とするため、2025 年度に「静岡市スポーツ活動・生涯学習に関する市民意識調査」を実施しました。

1 16 歳以上の調査結果

調 査 方 法：無作為抽出による 16 歳以上の市民 3,000 人に対し郵送配布・郵送回収
調 査 期 間：2025 年 10 月６日～2025 年 10 月 27 日
有効回収数：1,528 人　有効回収率：50.9%

（１）運動・スポーツ実施状況

設問　この１年間において、運動・スポーツをどのくらいの頻度で行っていますか。

〔図１〕 運動・スポーツ実施率【16 歳以上】



①運動・スポーツの実施率

週１日以上の運動・スポーツ実施率は 60.0%で、前回調査の 55.9%から 4.1 ポイント上がりました。

さらに、この１年間の運動・スポーツの頻度では、週３日以上の実施率は 41.2%で、前回調査の 36.8%から 4.4 ポイント上がりました。

設問　この１年間において、運動・スポーツをどのくらいの頻度で行っていますか。

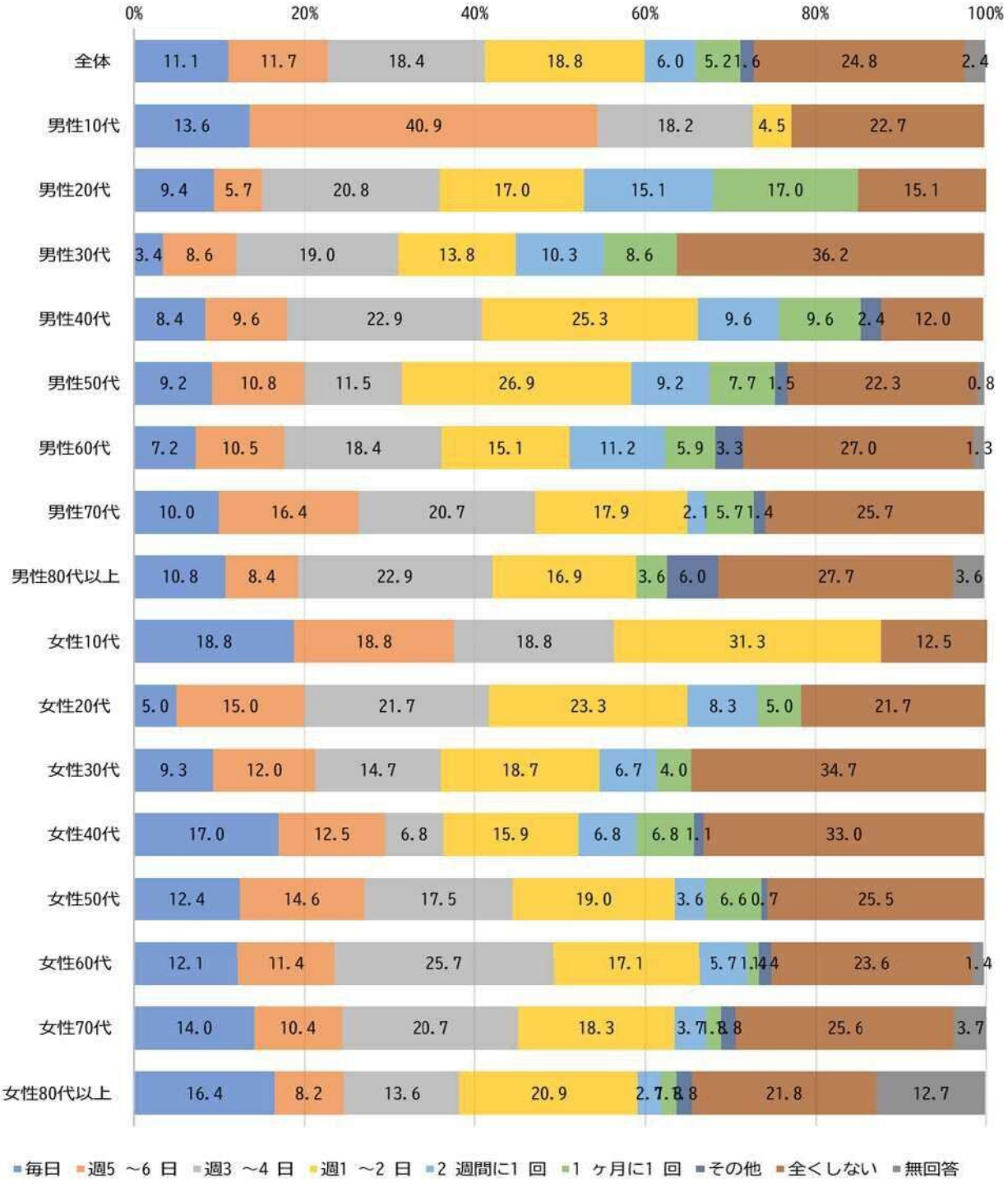
〔図２〕　スポーツ実施率の推移【16 歳以上の週１日以上のスポーツ実施率】



設問 この１年間において、運動・スポーツをどのくらいの頻度で行っていますか。

〔図３〕

運動・スポーツ実施率【16 歳以上／性年代別】



性年代別に分析すると、週１日以上の実施率は「10 代女性」(87.7%)が最も高く、「30 代男性」(44.8%)が最も低い状況でした。また「全くしない」は、男女とも 30 代が他の年代に比べ高いことがわかりました。

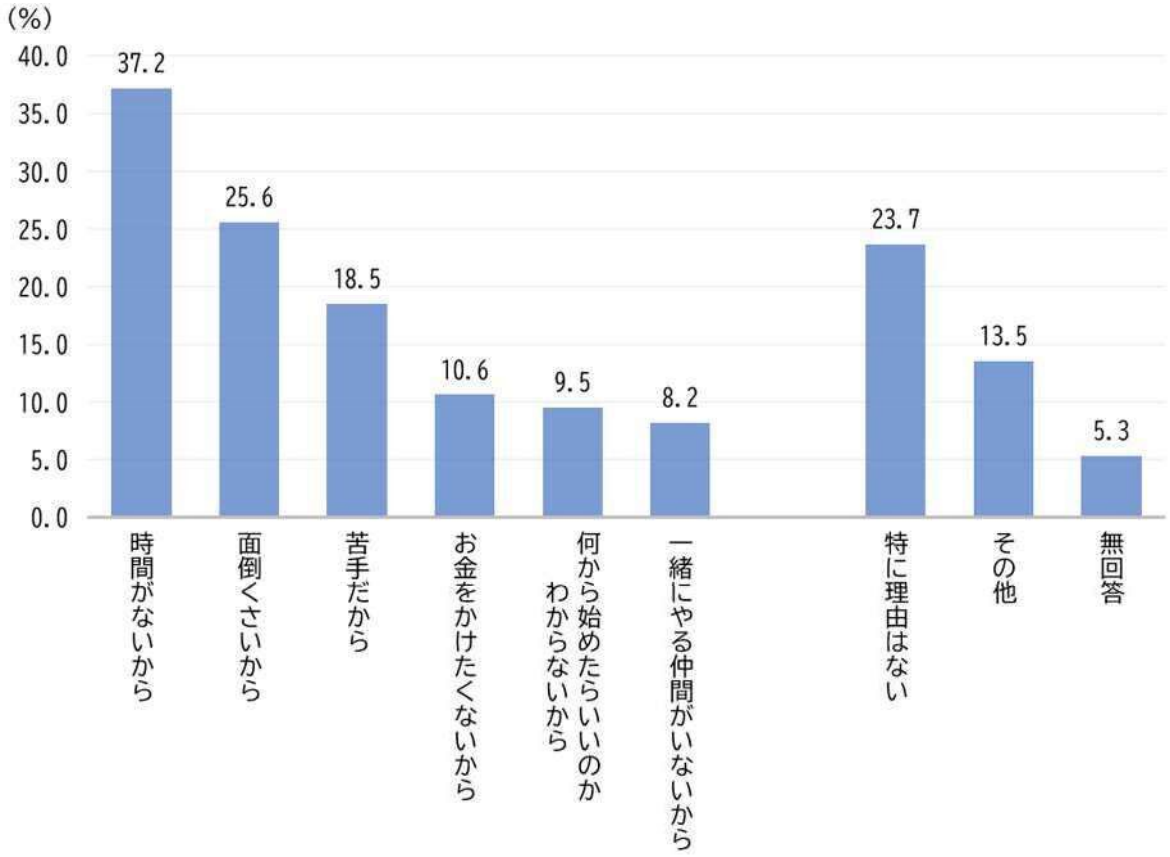
②運動・スポーツを行わない理由

〔過去 1 年間に運動・スポーツを「全くしない」という回答者に対して〕

「時間がないから(仕事・家事・育児・勉強などで忙しい)」(37.2%)が最も高く、30 代女性では前回と同様に 70%以上という高い数値を示しました。

設問 運動・スポーツを行わない理由は何ですか。(○はいくつでも)

〔図４〕　　運動・スポーツを行わない理由(複数回答)



〈参考〉前回調査結果(2021 年度・抜粋)

時間がないから	38.4%
面倒くさいから	21.0%
苦手だから	16.3%

図５(次ページ)から、性別に関わらず、20 代から 40 代は「時間がないから」を選択する人が多くいました。

設問 運動・スポーツを行わない理由は何ですか。（○はいくつでも）

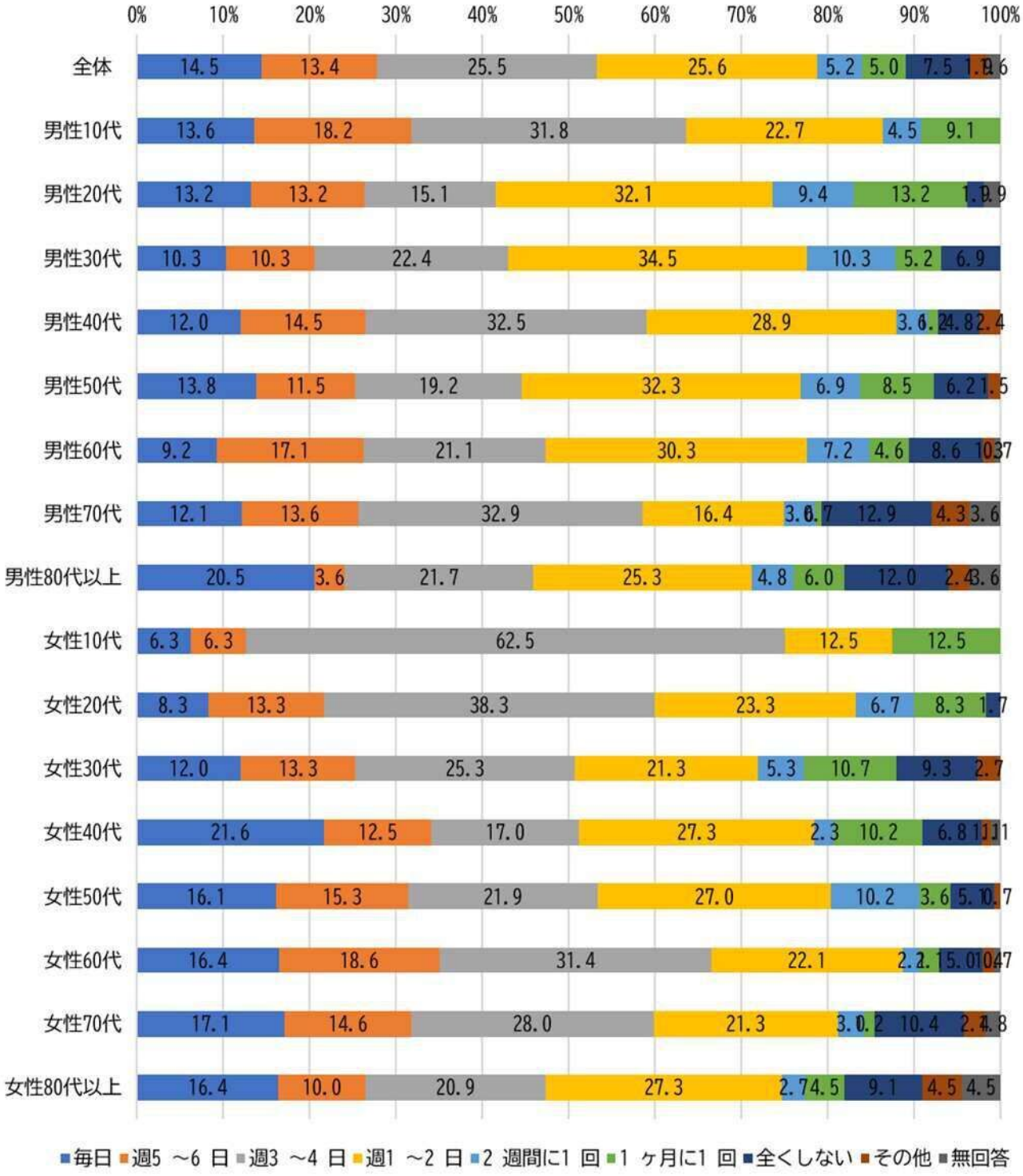
〔図５〕　運動・スポーツを行わない理由【性年代別】

	時間がないから	面倒くさいから	苦手だから	お金をかけたくないから	何から始めたらいいのかわからないから	一緒にやる仲間がいないから	特に理由はない	その他	無回答
全体（N=379）	37.2	25.6	18.5	10.6	9.5	8.2	23.7	13.5	5.3
男性10代（n=5）	60.0	20.0	40.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0
男性20代（n=8）	37.5	50.0	12.5	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0
男性30代（n=21）	57.1	33.3	19.0	23.8	14.3	14.3	14.3	4.8	4.8
男性40代（n=10）	50.0	30.0	20.0	0.0	0.0	10.0	10.0	0.0	0.0
男性50代（n=29）	41.4	24.1	13.8	0.0	0.0	3.4	27.6	3.4	3.4
男性60代（n=41）	34.1	24.4	4.9	4.9	7.3	14.6	31.7	12.2	0.0
男性70代（n=36）	19.4	13.9	5.6	5.6	5.6	5.6	33.3	33.3	5.6
男性80代以上（n=23）	8.7	13.0	4.3	0.0	0.0	4.3	52.2	39.1	4.3
女性10代（n=2）	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
女性20代（n=13）	46.2	23.1	7.7	7.7	23.1	30.8	23.1	0.0	0.0
女性30代（n=26）	73.1	38.5	42.3	26.9	15.4	7.7	7.7	3.8	0.0
女性40代（n=29）	44.8	44.8	24.1	13.8	20.7	3.4	10.3	0.0	3.4
女性50代（n=35）	45.7	37.1	34.3	20.0	11.4	11.4	8.6	2.9	14.3
女性60代（n=33）	54.5	18.2	24.2	12.1	12.1	3.0	9.1	18.2	6.1
女性70代（n=42）	16.7	19.0	19.0	16.7	11.9	2.4	38.1	16.7	4.8
女性80代以上（n=24）	8.3	12.5	16.7	0.0	8.3	4.2	37.5	29.2	20.8

運動・スポーツの希望頻度を性年代別でみると、男性 10 代・40 代・70 代、女性 10 代・20 代・30 代・60 代・70 代は「週３～４日」が最も高かった。

設問 あなたは、この先、スポーツをどのくらいの頻度で実施したいと思いますか。

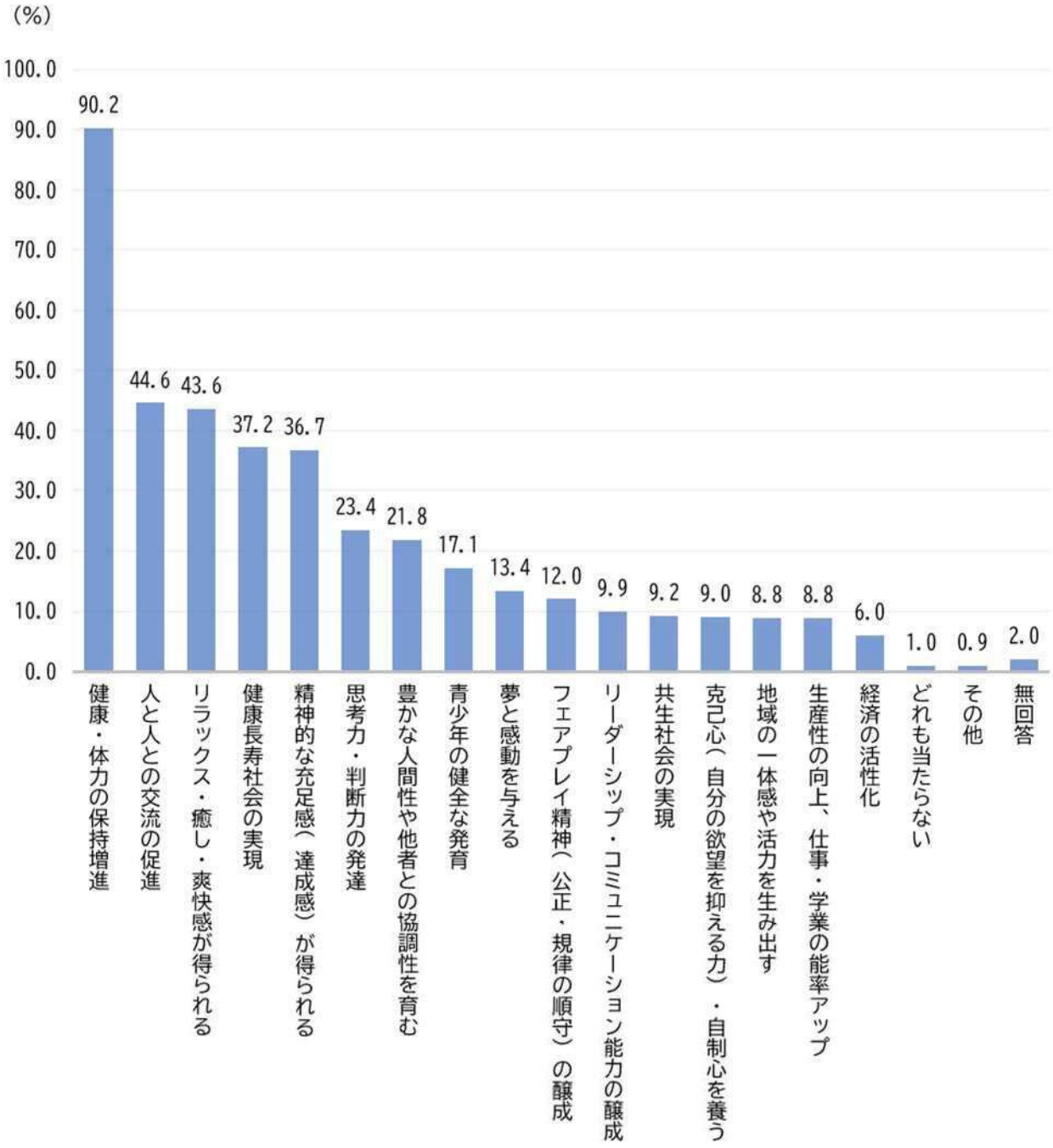
〔図６〕　　運動・スポーツの希望頻度【性年代別】



「健康・体力の保持増進」が 90.2%と高く(図７)、運動・スポーツには「健康・体力の保持増進」「人と人との交流の促進」の効果があるという認識があることが分かりました。

設問 運動・スポーツが、個人や社会にどのような効果をもたらすと思いますか。(○はいくつでも)

〔図７〕　　運動・スポーツが個人や社会にもたらす効果(複数回答)

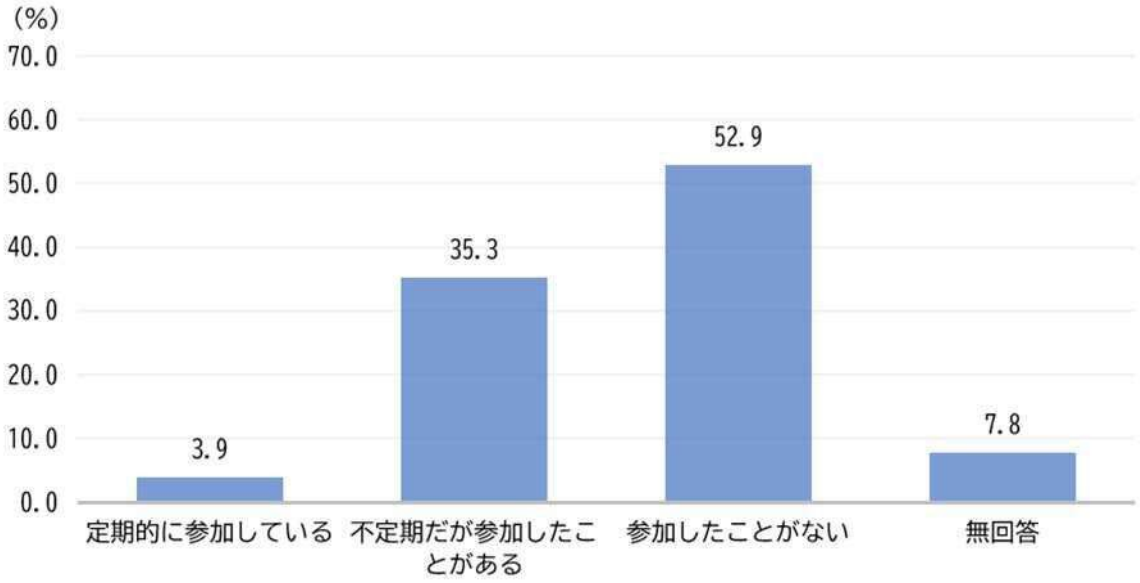


（３)地区・学区のスポーツイベント

住居(または勤務先、通学先)のある地区･学区のスポーツイベントへの参加状況では、「参加したことがない」人は 52.9%で、その理由は「存在を知らない」41.3%「興味がない」40.5%の二つが大きな割合を占めていました。

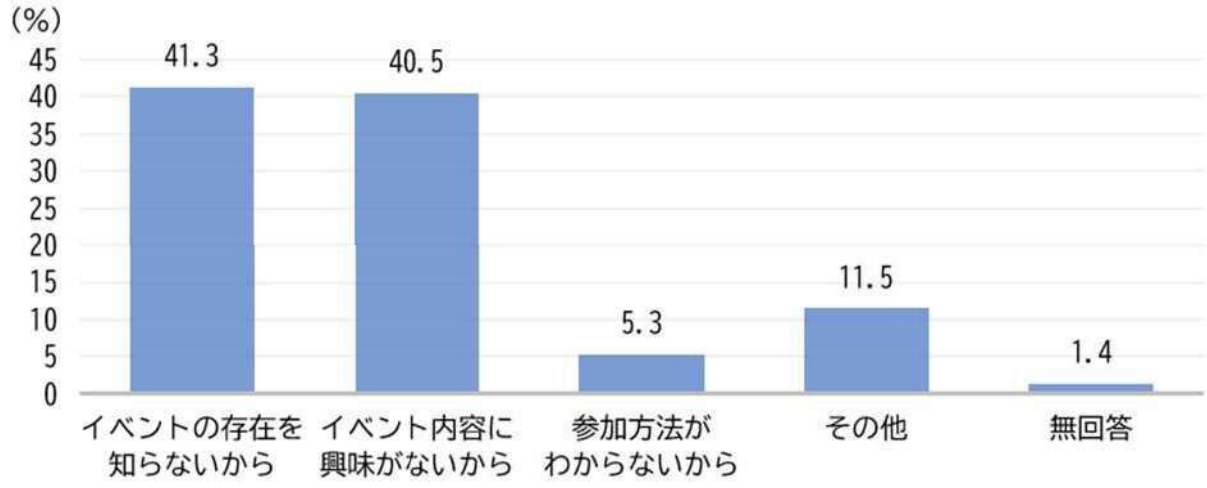
設問　あなたは、これまでお住まい(または、勤務先・通学先)の地区・学区のスポーツイベントに参加したことがありますか。

〔図８〕　地区・学区のスポーツイベントへの参加



設問 地区・学区のスポーツイベントに参加しない理由は何ですか。

〔図９〕　地区・学区のスポーツイベントへ参加しない理由

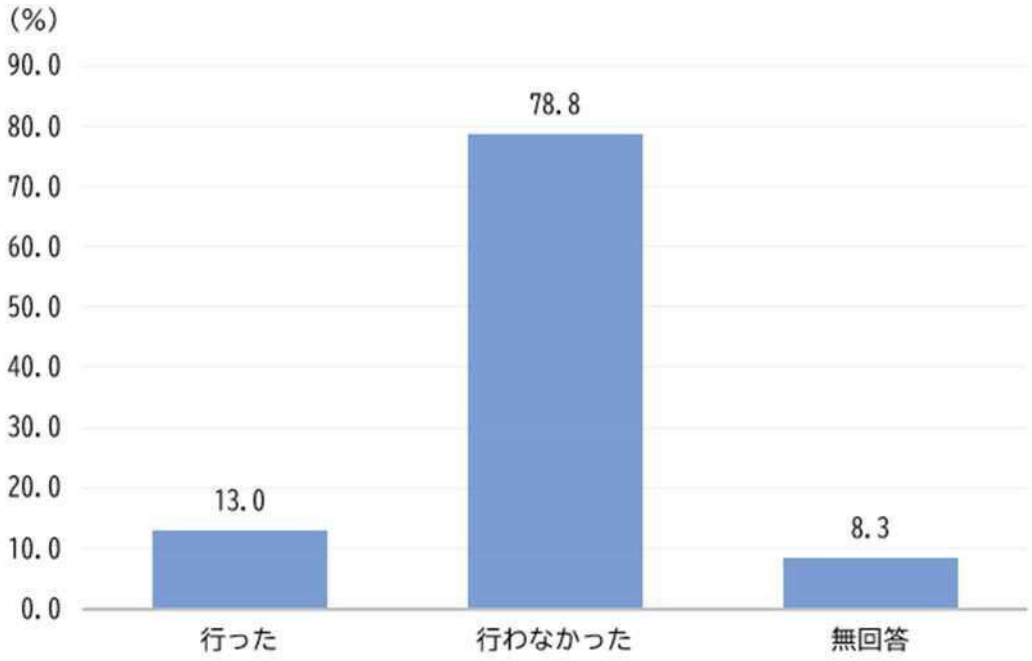


（４）スポーツボランティアについて

この一年間に運動・スポーツをささえる活動をどの程度行ったかに関しては「行った」が 13%で、「行わなかった」という回答は 78.8%でした。

設問 あなたは、この１年間で「運動・スポーツをささえる活動」はどの程度行いましたか。

〔図10〕　運動・スポーツをささえる活動の状況



前回調査では「スポーツボランティア活動」について質問しましたが、今回調査では、スポーツボランティアに限定せず、より幅広い「スポーツをささえる活動」について質問しました。その結果「行った」と回答した割合は前回調査から 11.5 ポイント増加し、スポーツをささえる活動には、スポーツボランティアに限定されない幅広い市民の関わりがあることが分かりました。

〈参考〉前回調査結果(2021 年度・抜粋)
行った　1.5%
行っていないが、機会があればやってみたい　15.8%
行っておらず、今後も行う予定はない　79.7%

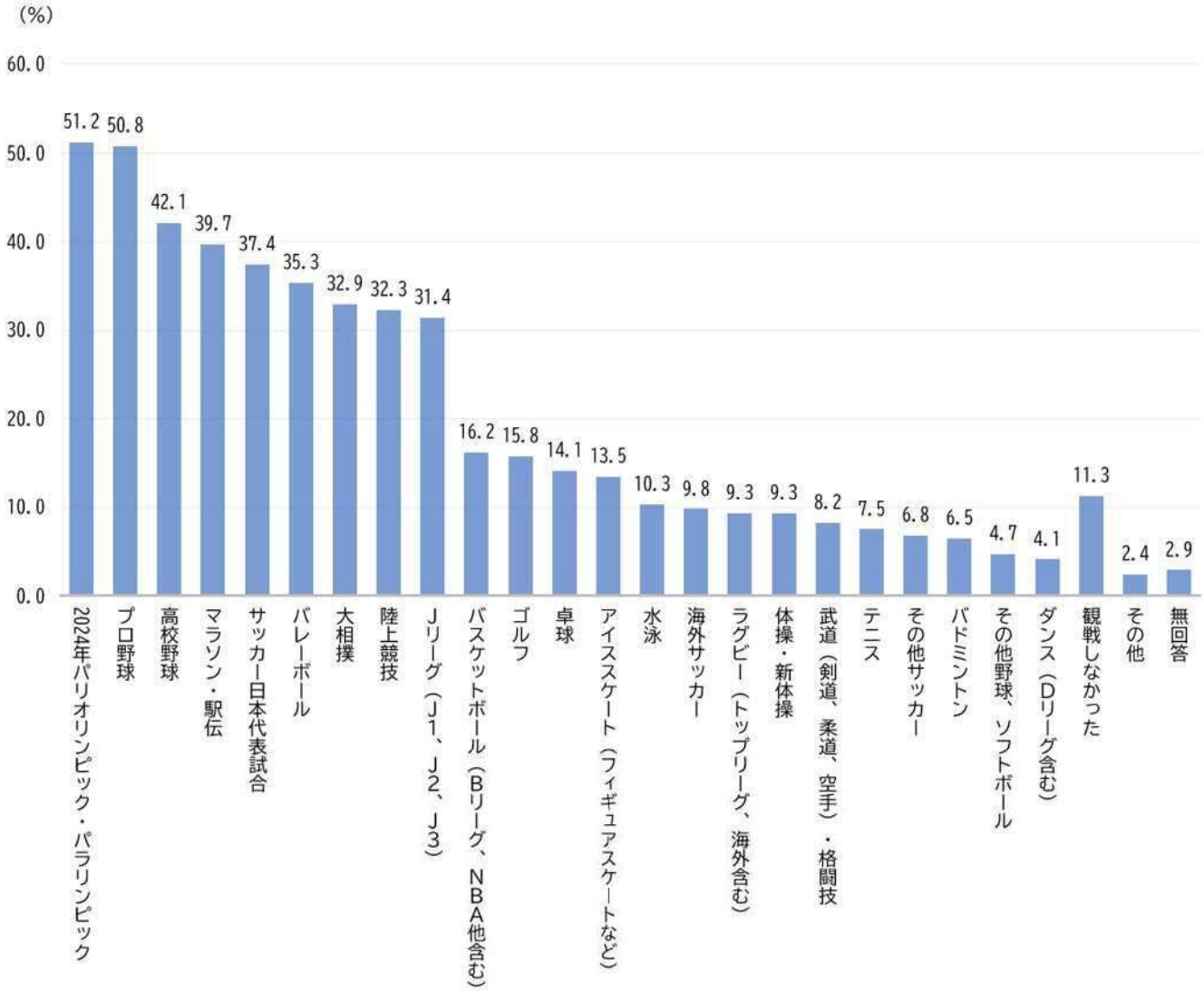
〈参考〉スポーツの実施状況に関する世論調査
(2021 年度スポーツ庁・抜粋)
日常的・定期的に行った　3.8%
イベント・大会で不定期に行った　4.4%
行っていない　86.6%

（５）スポーツの観戦について

スポーツの観戦について、この１年間で観戦をした種目では、「2024 年パリオリンピック・パラリンピック」が 51.2%で最も高く、次に「プロ野球(メジャーリーグを含む)」が 50.8%、「高校野球」が 42.1%でした。

設問 あなたがこの１年間に観戦(テレビ・インターネットでの観戦を含む)をしたことのあるスポーツ種目は何ですか。(○はいくつでも)

〔図11〕　　１年間に観戦したスポーツ種目

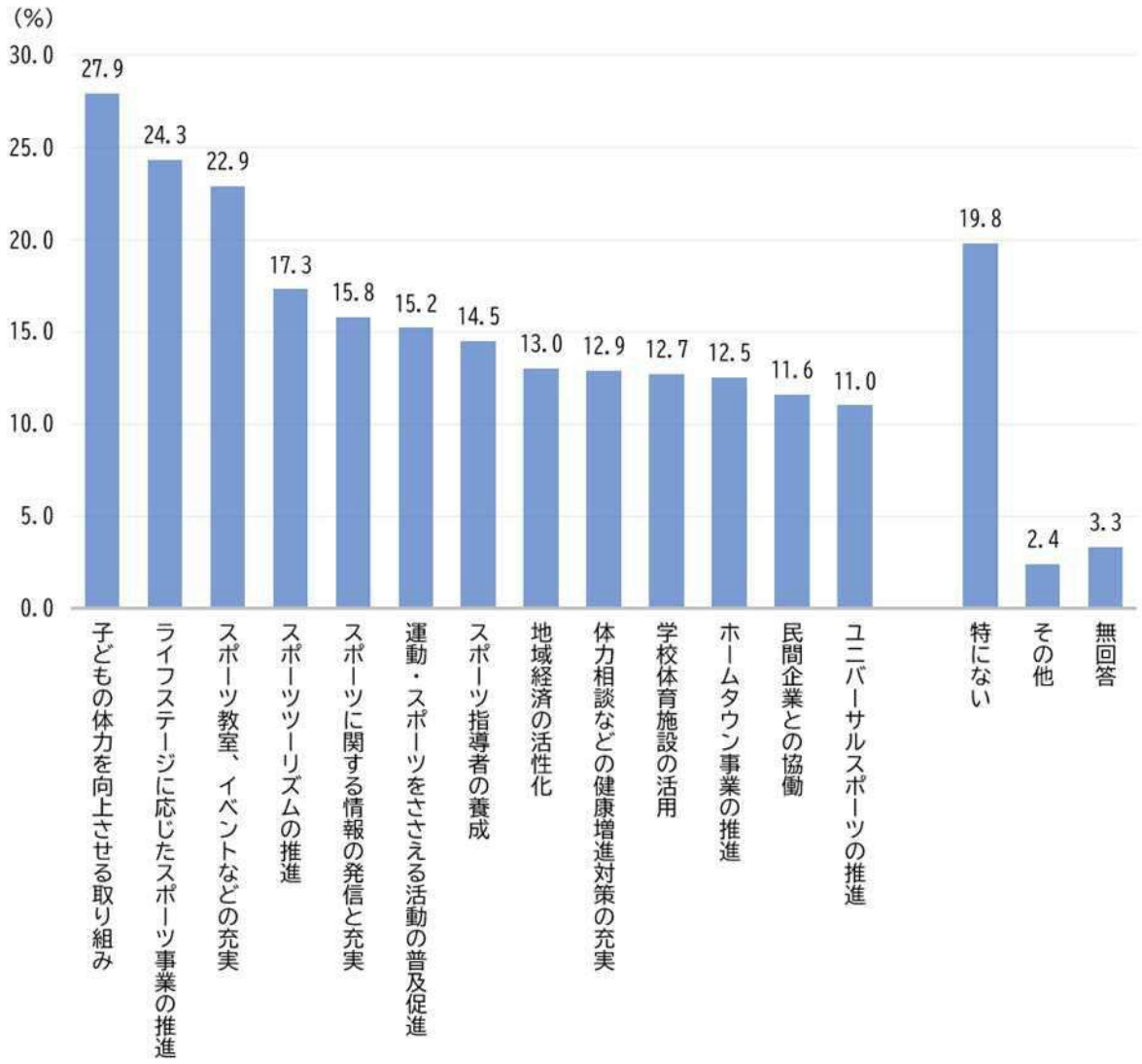


（６）スポーツに関して静岡市に求めるもの

今後、静岡市のスポーツに対する取組で重要だと思うことは、「子どもの体力を向上させる取組」が 27.9%で最も高く、次いで「ライフステージに応じたスポーツ事業の推進」が 24.3%、「スポーツ教室・イベントなどの充実」が 22.9%でした。

設問 あなたは、今後、静岡市のスポーツに対する取組において何が重要だと思いますか。（○はいくつでも）

〔図12〕　スポーツに関して静岡市に求めるもの（複数回答）



各年代やライフスタイルに合った教室や事業の推進が求められています。

〈参考〉前回調査結果（2021 年度・抜粋）
ライフステージに応じたスポーツ活動の推進　26.7%
子どもの体力を向上させる機会の創出　20.7%
スポーツ教室、イベントなどの充実　21.9%

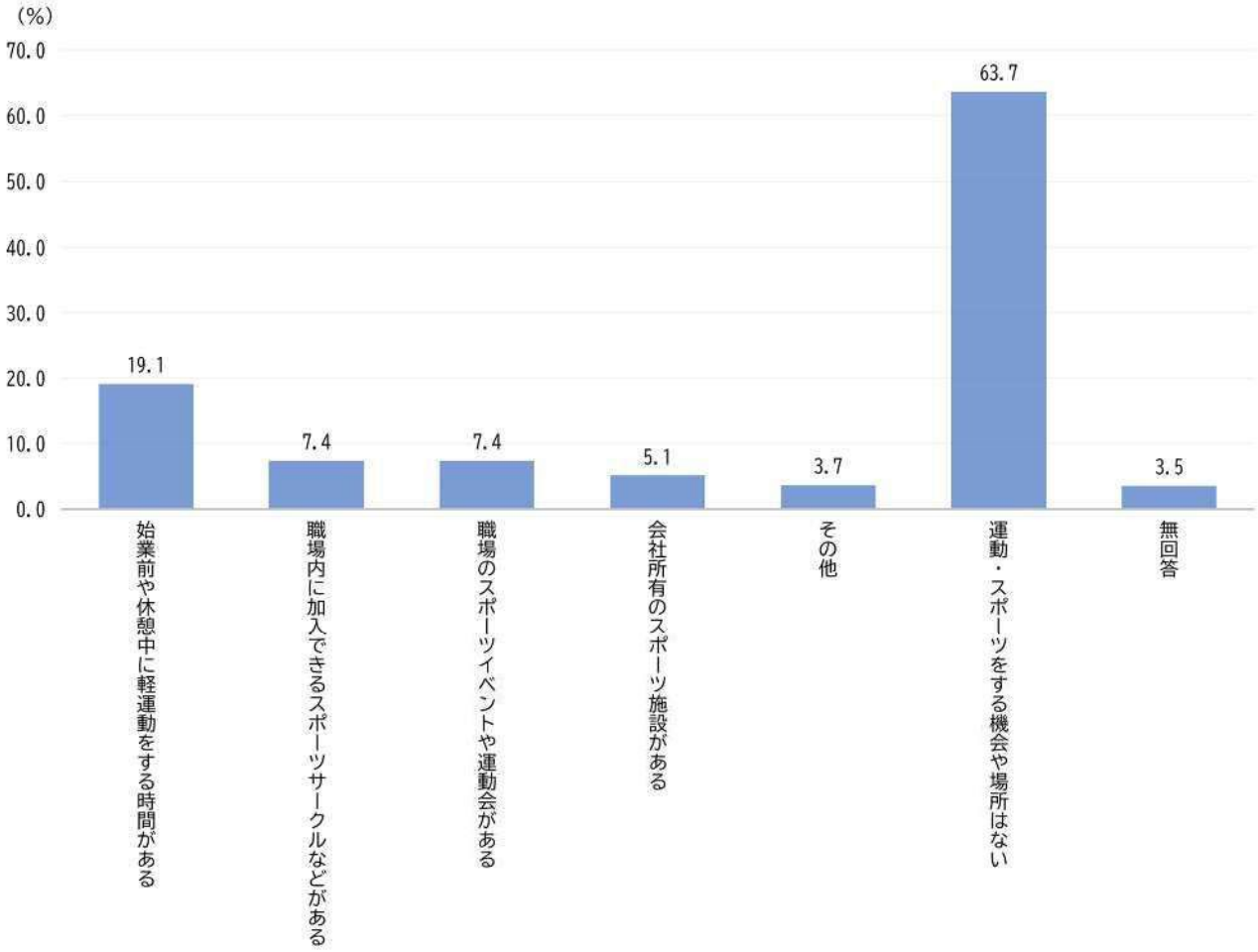
（７）職場でのスポーツ環境

〔「就業している」という回答者に対して〕

職場における運動・スポーツの環境では、「始業前や休憩中に軽運動（ラジオ体操など）をする時間がある」と回答した人が 19.1％で最も高く、次に「職場内に加入できるスポーツサークルなどがある」が 7.4％、「職場のスポーツイベントや運動会がある」が 7.4％でした。また「運動・スポーツをする機会や場所はない」が 63.7％でした。

設問 あなたの職場では、運動・スポーツをする機会や場所がありますか。
（○はいくつでも）

〔図13〕　職場にスポーツを行う環境があるか

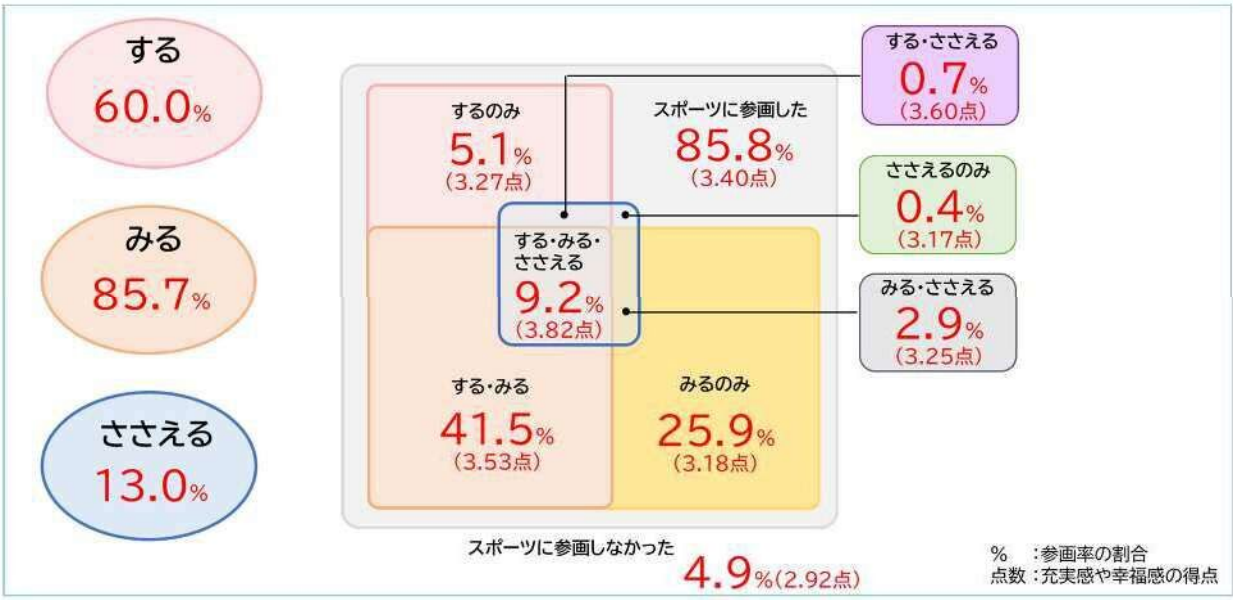


〈参考〉前回調査結果（2021 年度・抜粋）

始業前や休憩中に軽運動をする時間がある	19.0％
職場内に加入できるスポーツサークルなどがある	8.7％
職場のスポーツイベントや運動会がある	7.7％

（８）スポーツ参画状況(する・みる・ささえる)と日常生活の中での充実感や幸福感

スポーツ参画状況(する・みる・ささえる)と日常生活の中での充実感や幸福感をクロス集計した結果を図で表すと、スポーツの参画状況によって充実感や幸福感に差があり、複合的な参画ほど充実感や幸福感が高まる傾向がみられ、「する・みる・ささえる」すべてに参画した方は、日常生活の中の充実感や幸福感の得点(3.82 点/５点満点)となっています。



※「する」の割合は、この１年間、週１日以上運動スポーツを実施した方の割合

※「みる」の割合は、この１年間に観戦したことのあるスポーツ種目の問いに対して、 １種目以上観戦したと回答した方の割合

※「ささえる」の割合は、「運動・スポーツをささえる活動」で「行っていない」「わからない」「無回答」を除いた割合

2 小・中学校の調査結果

調 査 方 法：静岡市内の小学校及び中学校に在学する児童及び生徒 2,821 人に対し学校を通じて配布・回収
調 査 期 間：2025 年 10 月６日～2026 年 10 月 27 日
有効回収数：2,189 人　有効回収率：77.6%

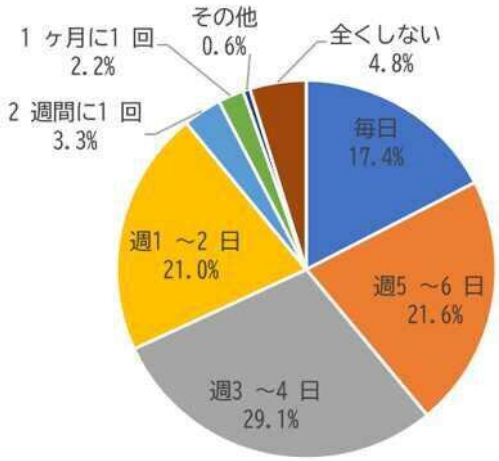
設問 この１年間において、運動・スポーツをどのくらいの頻度で行っていますか。

（１）運動・スポーツ実施状況

①運動・スポーツの実施率

週１日以上の運動・スポーツ実施率は 89.1%で、前回調査の 86.3%から 2.8 ポイント上がりました。

〔図１〕　運動・スポーツ実施率【小・中学生】



設問 この１年間において、運動・スポーツをどのくらいの頻度で行っていますか。

〔図２〕　運動・スポーツ実施率の推移【小・中学生】



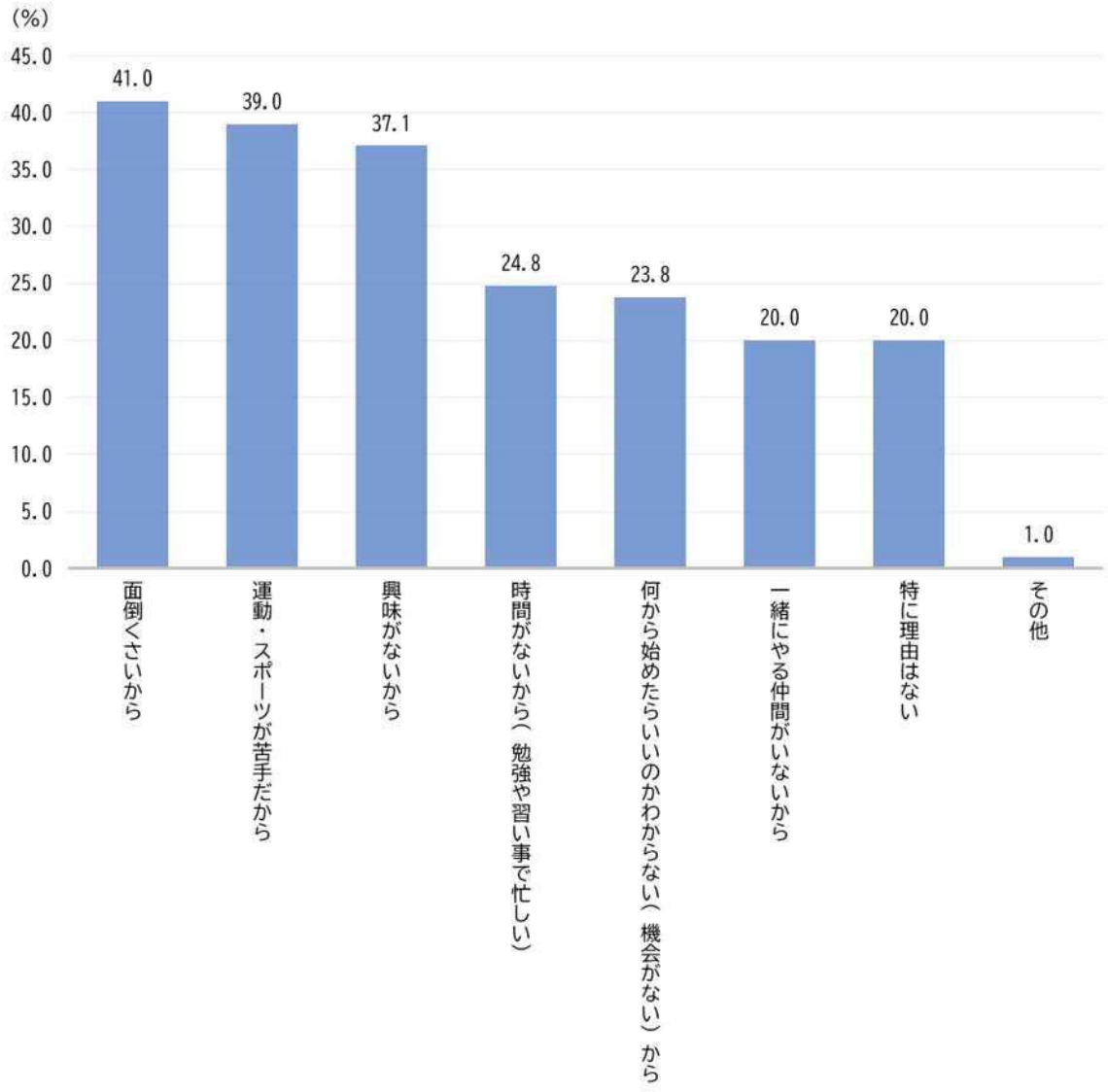
②運動・スポーツを行わない理由

〔過去 1 年間に運動・スポーツを「全くしない」という回答者に対して〕

「面倒くさいから」が 41.0%、「苦手だから」が 39.0%と、上位を占めました。前回調査結果と比較すると、「面倒くさいから」が 7.7 ポイント高くなり、運動・スポーツに対し、面倒という意識を持つ傾向があることが分かりました。

設問 運動・スポーツを行わない理由は何ですか。（○はいくつでも）

〔図３〕　　運動・スポーツを行わない理由(複数回答)



〈参考〉前回調査結果(2021 年度・抜粋)

苦手だから	46.9%
面倒くさいから	33.3%
興味がないから	30.2%

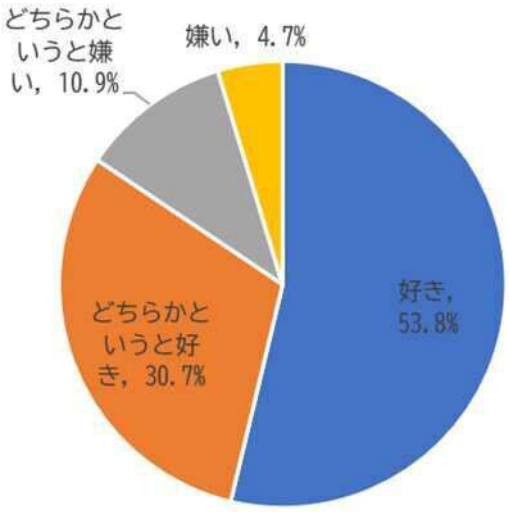
（２)運動・スポーツをすることについて

運動・スポーツをすることが「好き」という回答は 53.8%で、前回調査より 3.6 ポイント上がりました。「どちらかというと好き」も含むと 84.5%でした。

設問 あなたは、運動・スポーツをすることが好きですか。

〔図４〕

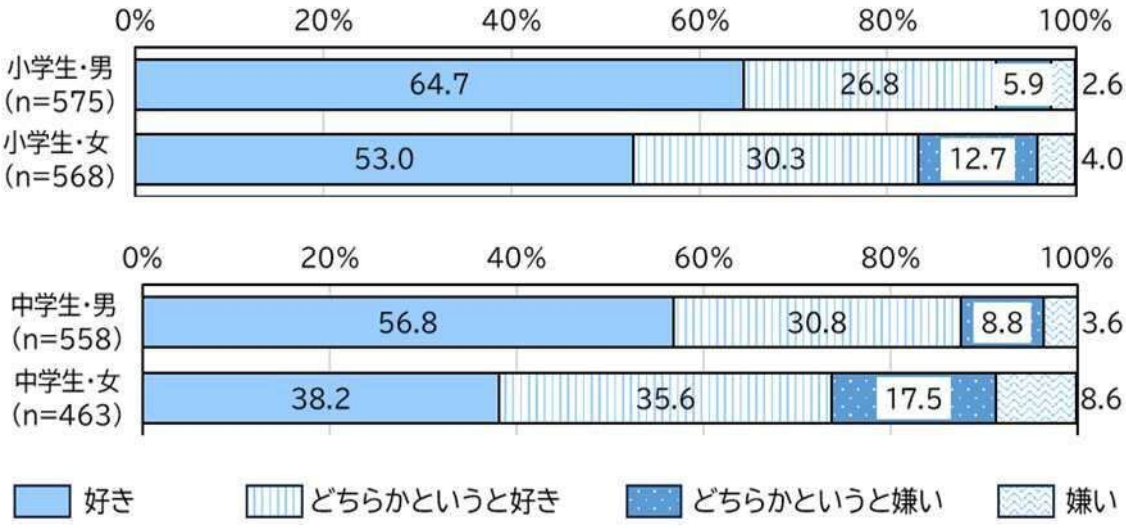
運動・スポーツをすることが好きか



〈参考〉前回調査結果(2021 年度・抜粋)
好き　50.2%
どちらかというと好き　29.7%
どちらかというと嫌い　12.6%

設問 あなたは、運動・スポーツをすることが好きですか

〔図５〕　運動・スポーツをすることが好きか【性別・学校期別】

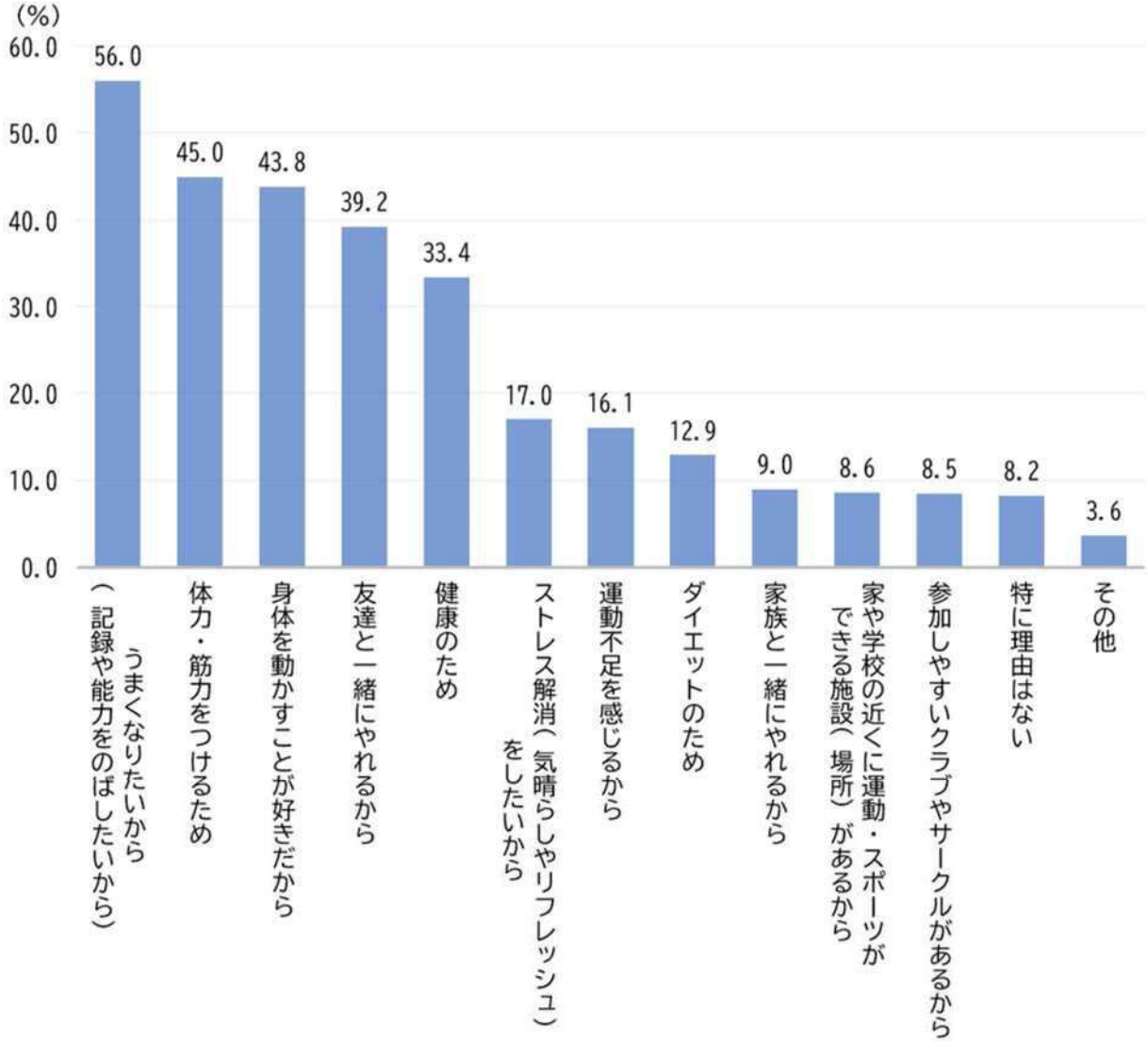


中学生女子の「好き」という回答は 38.2%であり、他の性別・学校期別の回答と比較すると低い結果でした(図５)。

運動・スポーツを行う理由・目的では、「うまくなりたいから(記録や能力を伸ばしたいから)」が 56.0%で最も高く、次に「体力・筋力をつけるため」が 45.0%、「身体を動かすことが好きだから」が 43.8%でした。

設問 運動・スポーツを行うのはなぜですか。(○はいくつでも)

〔図６〕　運動・スポーツを行う目的



〈参考〉前回調査結果(2021 年度・抜粋)

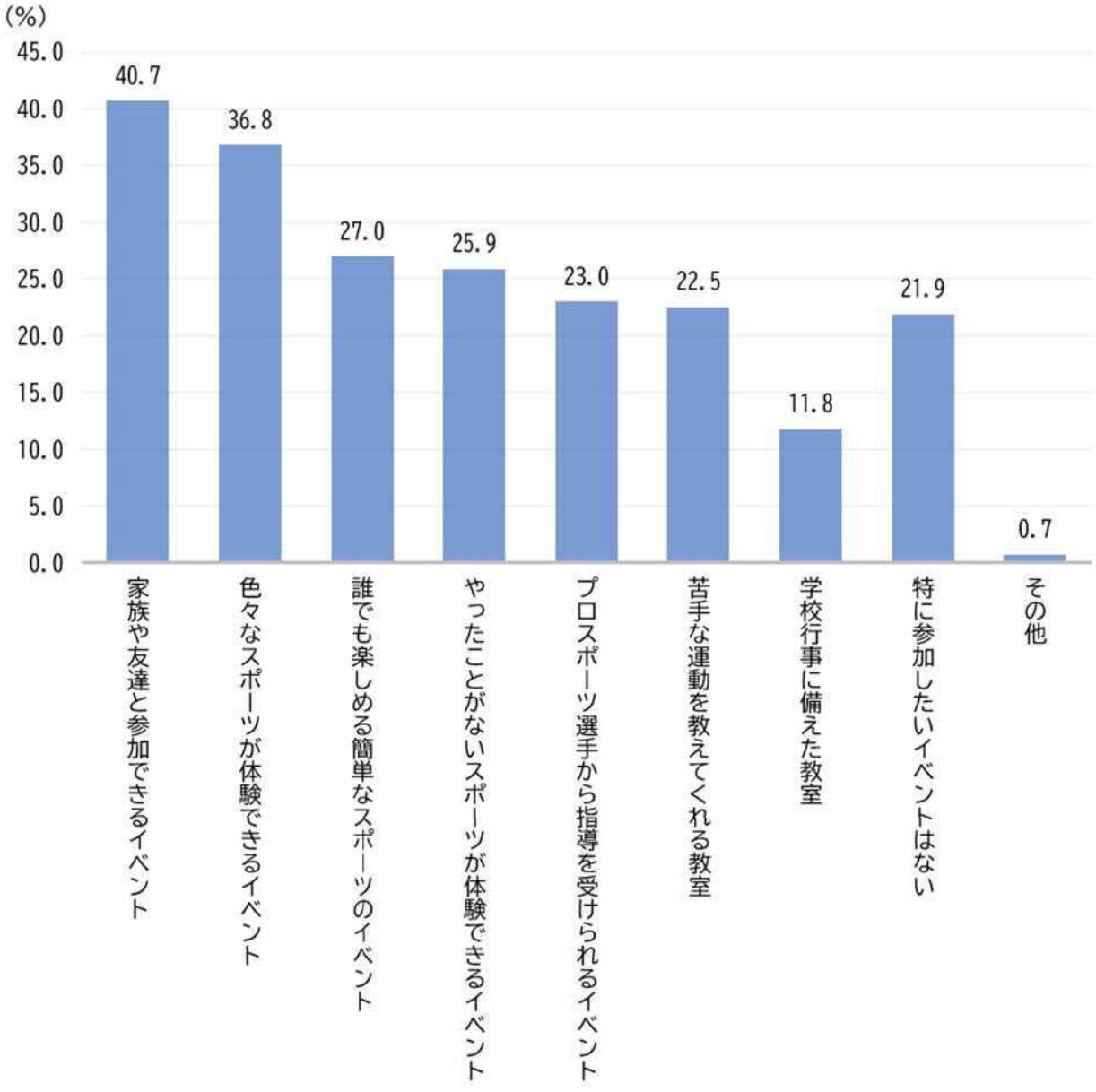
うまくなりたいから	47.6%
体力・筋力をつけるため	42.5%
身体を動かすことが好きだから	45.7%

（３）参加したいスポーツイベント・教室について

「家族や友達と参加できるイベント」が 40.7%で最も高く、次いで「色々なスポーツが体験できるイベント」が 36.8%でした。

設問 どのようなスポーツイベント・教室があれば参加したいですか。（〇はいくつでも）

〔図７〕　参加したいスポーツイベント・教室(複数回答)

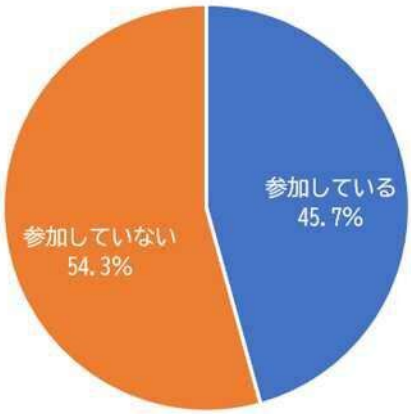


（４）学校の運動部活動について

中学生のうち、学校の運動部活動に参加している生徒は 45.7%で前回調査より 8.3 ポイント低くなりました。

設問 あなたは学校の運動部活動に参加していますか。

〔図８〕学校の運動部活動への参加の有無



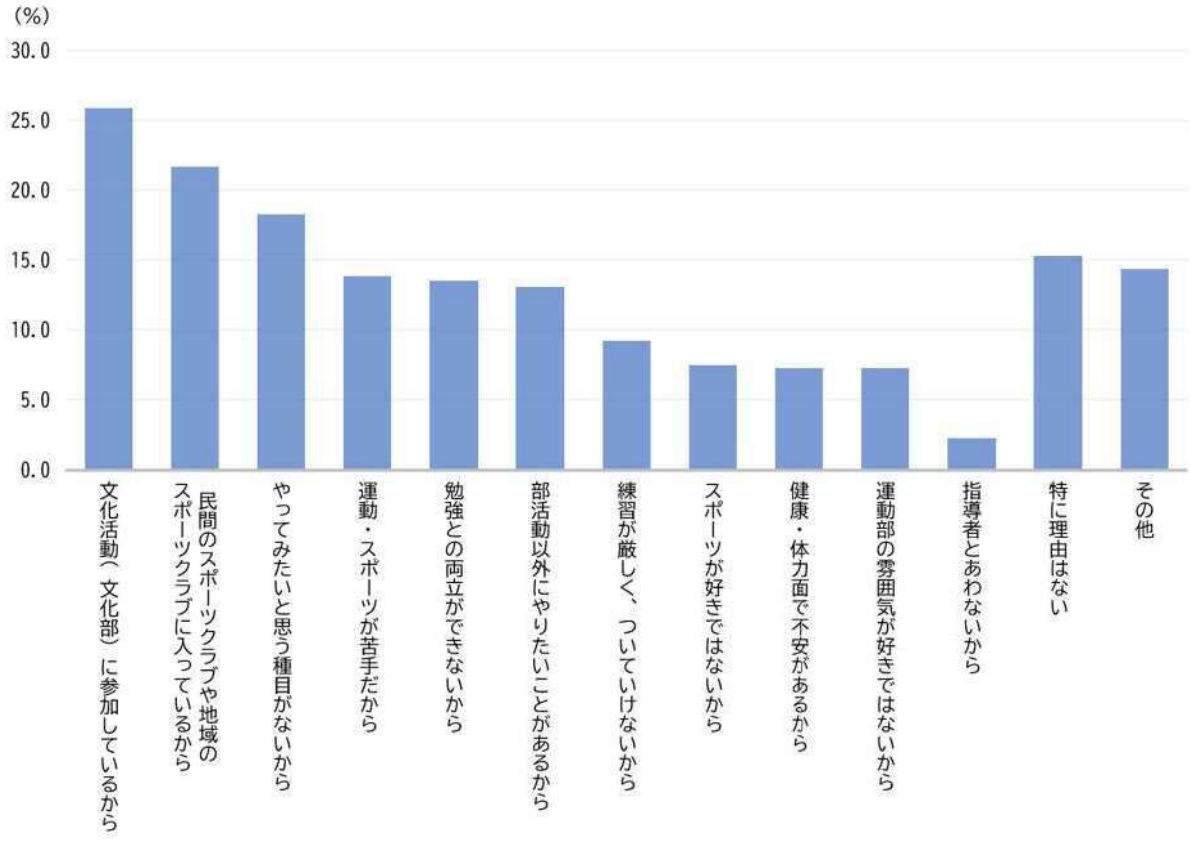
〈参考〉前回調査結果（2021 年度・抜粋）

参加している	54.0%
参加していない	44.4%
無回答	1.6%

また、参加しない理由は「文化活動（文化部）に参加している」が 25.9%で最も高く、次いで「民間のスポーツクラブや地域のスポーツクラブに入っているから」が 21.7%、「運動・スポーツが苦手だから」が 18.3%となっています。

設問 あなたが、運動部活動に参加しない理由は何ですか。（〇はいくつでも）

〔図９〕　運動部活動に参加しない理由（複数回答）



3 市民意識調査の結果について（まとめ）

＜運動・スポーツを「する」こと＞

▶ 週１日以上の運動・スポーツ実施率は 60.0%となり、前回調査より 4.1 ポイント上昇しています。

▶ 一方で、性年代別では 20～50 代を中心に実施率が低く、特に「時間がない」「面倒くさい」「運動・スポーツが苦手」といった理由がみられます。

⇒ 引き続き、働く世代をターゲットとした取組が必要です。
⇒ 「時間がない」という方にも、日常生活の中で気軽にスポーツに取り組める環境づくりが必要です。

▶ 運動・スポーツには「健康・体力の保持増進」や「人と人との交流の促進」などの効果があると認識されています。

⇒ スポーツが持つ健康の効果に加え、人との交流やつながりを生みだす価値を活かした取組を推進することが必要です。

＜運動・スポーツを「ささえる」こと＞

▶ この一年間に運動・スポーツをささえる活動をどの程度行ったかに関しては「行った」が 13%で、「行わなかった」という回答は 78.8%でした。

▶ 前回は「スポーツボランティア」に限定していたが、今回は「スポーツをささえる活動」として幅広く捉えたことで、前回より「行った」と回答した割合が 11.5 ポイント増加しました。

⇒ 「スポーツをささえる＝スポーツボランティア」という捉え方から、送迎や応援などを含めた多様な関わり方へ意識を広げていくことが必要です。

＜地域のスポーツ活動への参加＞

▶ 地区・学区のスポーツイベントについて、「参加したことがない」が 52.9%。

▶ 参加しない理由として「存在を知らない」「興味がない」が多くなっています。

⇒ 身近な地域で行われているスポーツ活動の情報発信や、参加するきっかけづくりが必要です。
⇒ スポーツを通じて地域の人が「あつまり、つながる」機会を創出していくことが必要です。

＜スポーツに対する市民ニーズ＞

▶ 今後、静岡市に求める取組として、「ライフステージに応じたスポーツ事業の推進」「子どもの体力を向上させる取組」「スポーツ教室・イベントなどの充実」が上位となりました。

⇒ 市民一人ひとりのライフステージやライフスタイルに応じて、スポーツに親しめる機会を充実させることが必要です。

●小・中学生

＜運動・スポーツを「する」こと＞

▶ 小・中学生の週１日以上の運動・スポーツ実施率は 89.1%で、前回調査より 2.8 ポイント上昇しています。

▶ 運動・スポーツをすることが「好き」「どちらかというと好き」を合わせると 84.5%である一方、中学生女子の「好き」は 38.2%と低いです。

⇒ 幼児期から様々なスポーツに触れ、「楽しい」「続けたい」と感じられる機会を確保するとともに、性別や学齢期等に応じたアプローチが必要です。

＜地域・学校以外も含めた多様なスポーツ機会＞

▶ 参加したいスポーツイベント・教室として、「家族や友達と参加できるイベント」が 40.7%、「いろいろなスポーツが体験できるイベント」が 36.8%と高いです。

⇒ 家族や友達と楽しめる機会や、様々なスポーツを体験できる機会を充実させ、多様なスポーツとの接点をつくることが必要です。

▶ 中学生の学校運動部活動への参加率は前回調査より低下し、参加しない理由として「文化部への入部」「民間・地域のスポーツクラブへの入会」「運動・スポーツが苦手」などが挙げられています。

⇒ 学校だけに限らず、地域や民間のスポーツクラブ等と連携し、多様なスポーツ機会を確保していくことが必要です。

３．第３期静岡市スポーツ推進計画へ組み込む視点

ライフステージに応じた健康・ウェルビーイングの向上

・幼児期から様々なスポーツに触れ、運動・スポーツが「楽しい」「続けたい」と感じられる取組の実施

・企業に対して社員の運動・スポーツを習慣化させる取組を実施

・体育館で開催しているスポーツ教室等に関する情報を一元化し、分かりやすく情報を発信

・スポーツ活動(イベントや大会等)を通じた集まる・つながる機会の創出

スポーツに親しむための環境整備

・人口動態や利用実態を踏まえたスポーツ施設の適正配置の検討

・指定管理者制度の活用や民間活力の導入

・スポーツ・インテグリティ確保のため、指導者のスキルアップにつながる機会の確保

多様な主体との共働・共創によるスポーツの推進

・ホームタウンチームやスポーツ推進委員と連携したスポーツ参画機会の充実

・企業や学生との共働によるスポーツ活動の活性化

ユニバーサルスポーツの推進を通じた共生社会の実現

・誰もが、いつでも、どこでも楽しめる「ユニバーサルスポーツ」の聖地化

・ユニバーサルスポーツに関する大会やイベント、教室を開催

スポーツ資源を活用した地域経済の活性化と地域の魅力向上

・静岡市が持つ資源を活用し、スポーツによるまちづくりの推進
(ユニバーサルスポーツの聖地化、2030 年開業予定の静岡市アリーナなど)

・大会・合宿等の誘致によるスポーツツーリズムの推進

・ホームタウンチームの認知度上昇を通じた、みるスポーツの拡大

第３章　表紙

１．本計画の基本理念

スポーツには、体を動かすことによる体力の向上や生活習慣病の予防、ストレスの軽減など、市民の心身の健康を増進し、一人ひとりのウェルビーイングの向上に寄与する力があります。また、スポーツを観戦し、応援し、支える活動に参加することは、人々に勇気や感動、達成感をもたらし、豊かな人生の実現につながります。これらは、スポーツが持つ「個人に与える価値」です。

一方で、スポーツは人と人、人と地域をつなぎ、新たな交流やつながりを生み出す力を有しています。ホームタウンチームやスポーツイベント、スポーツ施設などの地域資源は、多くの人々を呼び込み、交流人口や関係人口の拡大、地域経済の活性化につながります。また、スポーツ団体、ホームタウンチーム、企業、大学、地域など多様な主体が連携しながらスポーツに取り組むことで、人材育成や地域課題の解決、新たな価値の創出を促進することができます。これらは、スポーツが持つ「社会に与える価値」です。

スポーツには、「心や体を元気にする力」「人と人とのつながりを生み出す力」「地域に賑わいと活力をもたらす力」があります。こうしたスポーツの力を最大限に活用するためには、市民、企業、大学、ホームタウンチーム、行政などがそれぞれの強みを生かしながら共働・共創し、地域全体でスポーツを支えていくことが重要です。

本計画では、スポーツを通じて市民の健康とウェルビーイングの向上を図るとともに、多様な主体との共働・共創により地域経済の活性化や地域課題の解決につなげ、「誰もが安心して暮らし、幸せを実感し、住み続けたいと感じられるまち」の実現を目指します。

基本理念

スポーツを通じて、市民の健康を増進するとともに

地域経済を活性化するまちにします。

2. 本計画の基本方針

本計画の推進にあたり、次の５項目を基本方針に掲げ、基本理念の実現に向けて取り組みます。

基本方針１

ライフステージに応じた健康・ウェルビーイングの向上

市民の多様なライフスタイルに応じたスポーツ参加を促進するとともに市民の健康・ウェルビーイングの向上につなげます。

基本方針２

スポーツに親しむための環境整備

スポーツを行う「場づくり」やスポーツを支える「人づくり」を通じ、誰もがスポーツに親しめる環境を整備します。

基本方針３

多様な主体との共働・共創によるスポーツの推進

スポーツ推進委員や地域、企業、学生、団体等との共働・共創を通じて、多様な主体がそれぞれの強みを生かしながら連携し、新たなスポーツ活動や価値創出につながる機会を創出します。

基本方針４

ユニバーサルスポーツの聖地化の推進による共生社会の実現

清水区庵原地区を中心にユニバーサルスポーツの拠点を整備するとともに、統括団体と連携した取組を展開することで、人々が日常的に「あつまり」、地域や多世代との「つながり」を育みながら、誰もがスポーツを楽しめる共生社会の実現を目指します。

基本方針５

スポーツ資源を活用した地域経済の活性化と地域の魅力向上

市内スポーツ資源を活用し、地域の魅力向上、活力の醸成を推進します。あわせて、合宿・大会の誘致やスポーツ施設の民間活用、「みるスポーツ」の拡大を通じて、来訪・滞在を促進し、地域の経済循環を創出します。

3. 施策体系図


基本方針
指標
代表的な施策
(※基本施策は、複数の基本方針に関連する)
課題：誰もが健康・ウェルビーイングの向上につながるスポーツ機会を確保するため、ライフステージや生活環境に応じたスポーツ活動を推進する必要がある。
基本方針1
ライフステージに応じた健康・ウェルビーイングの向上
市民の多様なライフスタイルに応じたスポーツ参加を促進するとともに市民の健康・ウェルビーイングの向上につなげます。
【指標：16歳以上の週1日以上のスポーツ実施率】
60%(2025)→70%(2030)
→70%以上(2035)
学校・地域が連携した多様なスポーツ機会の確保
働く世代と女性のスポーツ活動の推進
高齢者のスポーツ活動を通じた社会参加の促進
多様な世代で楽しむスポーツ活動の推進（eスポーツの活用も含む）
課題：誰もがスポーツに親しむため、人口減少等を踏まえた持続可能なスポーツ環境を確保する必要がある。
基本方針2
スポーツに親しむための環境整備
スポーツを行う「場づくり」やスポーツを支える「人づくり」を通じ、誰もがスポーツに親しめる環境を整備します。
【指標：する・みる・ささえるのすべてに参画した市民の割合】
9.2%(2025)→15%(2030)
→20%(2035)
スポーツ施設のマネジメント改革
スポーツ指導者の育成によるスポーツ・インテグリティの確保
スポーツボランティア活動の普及促進
ホームタウンチーム活動の推進によるみるスポーツ拡大
課題：市民スポーツの裾野を拡大するため、多様な主体による共働・共創によるスポーツ活動を推進する必要がある。
基本方針3
多様な主体との共働・共創によるスポーツの推進
スポーツ推進委員や地域、企業、学生、団体等との共働・共創を通じて、多様な主体がそれぞれの強みを生かしながら連携し、新たなスポーツ活動や価値創出につながる機会を創出します。
【指標：静岡型スポーツ・イン・ライフ推進パートナー※認定団体数】
22団体(2025)→100団体(2030)
→200団体(2035)
※社員や構成員等のスポーツ活動を支援・促進する取組を行っている企業・団体
ホームタウンチームとの連携・共働の推進
スポーツ推進委員との共働によるスポーツ活動の推進
地域や企業、他分野との連携・共働の推進
学生との連携・共働の推進
課題：共生社会の実現のため、ユニバーサルスポーツに係るソフト・ハードの一体的な環境整備及び人材・組織体制を強化し、市民や関係団体等との共働・共創により取組を推進する必要がある。
基本方針4
ユニバーサルスポーツの聖地化の推進による共生社会の実現
清水区庵原地区を中心にユニバーサルスポーツの拠点を整備するとともに、統括団体と連携した取組を展開することで、人々が日常的に「あつまり」、地域や多世代との「つながり」を育みながら、誰もがスポーツを楽しめる共生社会の実現を目指します。
【指標：庵原地区におけるスポーツ施設利用者数】
406,062人(2025)→430,000人(2030)→450,000人以上(2035)
スポーツ施設のバリアフリー化
ユニバーサルスポーツ統括団体との連携・共働
ユニバーサルスポーツの交流・体験機会の創出
教育機関との連携による共生社会への理解促進
課題：市内のスポーツ資源（スポーツ施設やホームタウンチーム等）を活用し、地域・経済の活性化を推進する必要がある。
基本方針5
スポーツ資源を活用した地域経済の活性化と地域の魅力向上
市内スポーツ資源を活用し、地域の魅力向上、活力の醸成を推進します。あわせて、合宿・大会の誘致やスポーツ施設の民間活用、「みるスポーツ」の拡大を通じて、来訪・滞在を促進し、地域の経済循環を創出します。
【指標：スポーツイベントにおける県外からの来訪者の割合】
57.1%(2025)→65%(2030)
→70%(2035)
スポーツによるまちづくりの推進
公共スポーツ施設の民間活用
全国大会等の開催支援や合宿の誘致
スポーツを通じたシティプロモーション
【再掲】ホームタウン活動の推進によるみるスポーツの拡大

4. 基本方針に対する施策や取組事業

基本方針１　ライフステージに応じた健康・ウェルビーイングの向上

指標　16 歳以上の週１日以上のスポーツ実施率
現状値(2025 年度) 60.0%　⇒　目標値(2030 年度) 70.0%
⇒　目標値(2035 年度) 70.0%以上
指標設定理由　スポーツ実施は健康増進やフレイル予防、心身のウェルビーイング向上につながることから、市民のスポーツ実施状況を把握する代表的な指標として設定する。

市民の多様なライフスタイルに応じたスポーツ参加を促進するとともに
市民の健康・ウェルビーイングの向上につなげます。

◆基本施策１◆　学校・地域が連携した多様なスポーツ機会の確保

学校と地域が連携し、子どもたちが生涯にわたる運動習慣の基礎を培い、スポーツの楽しさを実感できる環境づくりを推進します。あわせて、部活動の地域連携・地域展開を進め、多様なスポーツ機会の確保を図ります。

取組事業の例

しずおか地域クラブ活動の推進

少子化に伴う生徒数の減少や部活動の維持が困難になる中、中学生が将来にわたりスポーツや文化芸術活動に親しむことができる環境を確保するため、学校部活動から「しずおか地域クラブ活動」への転換を進めます。

静岡市では、学校施設や地域資源を活用するとともに、競技団体、民間事業者、大学、地域団体、指導者など多様な主体との連携により、持続可能な活動環境の構築を目指しています。



地域クラブ活動では、従来の部活動と同様の種目に加え、多様な活動の選択肢を確保するとともに、専門性を有する地域指導者による指導体制の充実を図ることで、子どもたちの豊かなスポーツライフの実現と地域スポーツの活性化を目指します。

◆基本施策２◆　働く世代と女性のスポーツ活動の推進

仕事や育児等によりスポーツに取り組む時間の確保が難しい働く世代や女性に対し、企業と連携した運動機会の提供や日常生活に取り入れやすい運動の普及を進め、スポーツ実施率の向上を図ります。

取組事業の例

運動・スポーツ習慣化促進事業

ホームタウンチームと連携し、オリジナルダンスを活用した企業訪問やホームゲームでの PR イベントの実施により、市民が身近に運動・スポーツに取り組める環境を整備し、運動習慣の定着を図ります。



◆基本施策３◆　高齢者のスポーツ活動を通じた社会参加の促進

高齢の方が無理なく参加できるスポーツ事業を充実させ、体力維持や認知症の予防などの健康づくりを図ります。

取組事業の例

しぞ～かでん伝体操活動グループ支援事業

静岡市版介護予防体操「しぞ～かでん伝体操」「しぞ～かちゃきちゃき体操」を周知し、住民主体で取り組む活動拠点の立ち上げを支援します。また、活動に継続的に取り組めるよう体操指導や体力測定等を実施します。

全国健康福祉祭（愛称：ねんりんピック）への選手団派遣

高齢者等の生きがいと健康づくりを推進するため、「ねんりんピック」に出場する静岡市代表の選手団を派遣します。

◆基本施策４◆　多様な世代で楽しむスポーツ活動の推進
（e スポーツの活用も含む）

年齢や性別、障がいの有無等に関係なく、多様な世代が気軽に参加できるスポーツの機会を創出することで、市民のスポーツに対するハードルを下げるとともに、日常にスポーツがとけ込む環境や意識づくりに取り組みます。

取組事業の例

指定管理施設での市民の健康維持教室の開催

参加対象を限定せず、誰でも気軽に参加できる健康増進教室を開催し、市民のスポーツに対するハードルを下げるとともに、スポーツ実施率向上を図ります。

基本方針２　スポーツに親しむための環境整備

指標　「する・みる・ささえる」の全てに参画した市民の割合
現状値（2025 年度）9.2%　⇒　目標値（2030 年度）15%
⇒　目標値（2035 年度）20%
指標設定理由　市民意識調査において、「する・みる・ささえる」の全てに参画している人ほど幸福度や充実度が高い傾向が見られたため、市民が多様な形でスポーツに関わる環境づくりの成果を測る指標として設定する。

スポーツを行う「場づくり」やスポーツを支える「人づくり」を通じ、誰もがスポーツに親しめる環境を整備します。

◆基本施策１◆　スポーツ施設のマネジメント改革

スポーツ施設の維持管理や長寿命化等の整備を実施するとともに、市民ニーズに沿った管理・運営による利用機会の維持・向上とコストの適正化を図ることにより、市民が安全・安心にスポーツ活動ができる環境を整えます。

取組事業の例

スポーツ施設改修事業

静岡市スポーツ施設配置適正化方針による個別施設計画に基づく改修を行い、施設の長寿命化を図ります。



スポーツ施設配置適正化方針に沿ったマネジメント改革

スポーツ施設配置適正化方針に基づき、民間活力の導入を進め、利用者ニーズに応じた効率的で魅力ある施設運営を推進します。

◆基本施策２◆ スポーツ指導者の育成によるスポーツ・インテグリティの確保

スポーツ指導者の資質向上と新たな指導者の育成を進めるとともに、暴力、ハラスメント、差別等を防止し、スポーツ・インテグリティが確保された安全・安心なスポーツ環境を整備することで、市民の競技力向上やアスリート育成につなげます。

取組事業の例

体育・保健体育科の授業づくり研修会の実施

スポーツ庁主催の研修会に参加した教諭が講師となり、教員を対象に授業づくり研修会を実施します。全ての児童・生徒が、体を動かす楽しさを味わい、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を身に付けることができるような体育・保健体育の指導の在り方を学びます。

◆基本施策３◆ スポーツボランティア活動の普及促進

スポーツボランティア活動への参加を促進し、「ささえるスポーツ」の担い手を育成することで、地域スポーツ活動の充実とスポーツ文化の醸成を図ります。

取組事業の例

ボランティア情報の提供

静岡市のホームページ等を活用してスポーツ大会・イベント等のボランティア情報を提供します。



◆基本施策４◆　ホームタウン活動の推進によるみるスポーツの拡大

ホームタウンチームの活動を通じて市民とスポーツとの接点を増やし、観戦機会の充実や応援機運の醸成により、「みるスポーツ」の拡大を図ります。

取組事業の例

プロスポーツチーム等連携プロジェクト

静岡市をホームタウンとするプロスポーツチーム等の活用・支援を通じて、地域の一体感や市民の共感を呼び起こし、社会全体の共働・共創によるまちづくりを推進します。



基本方針３　多様な主体との共働・共創による スポーツの推進

指標　静岡型スポーツ・イン・ライフ推進パートナー認定企業・団体数
現状値（2025 年度）22 団体 ⇒　目標値（2030 年度）100 団体
⇒　目標値（2035 年度）200 団体
指標設定理由　企業や団体、大学等との連携により、市民のスポーツ参加機会の拡充や地域課題の解決が期待されることから、多様な主体によるスポーツ推進体制の広がりを測る指標として設定する。

スポーツ推進委員や地域、企業、学生、団体等との共働・共創を通じて、多様な主体がそれぞれの強みを生かしながら連携し、新たなスポーツ活動や価値創出につながる機会を創出します。

◆基本施策１◆　ホームタウンチームとの連携・共働の推進

市内ホームタウンチームと連携・共働し、地域の賑わい創出やコミュニティ機能の向上、地域への愛着醸成に取り組みます。

取組事業の例

プロスポーツチーム等連携プロジェクト（再掲）

静岡市をホームタウンとするプロスポーツチーム等の活用・支援を通じて、地域の一体感や市民の共感を呼び起こし、社会全体の共働・共創によるまちづくりを推進します。



ホームタウンチームと連携したスポーツ教室

ホームタウンチームの選手、コーチからの技術指導や普段とは異なる競技体験の機会を提供するため、ホームタウンチームによる合同スポーツクリニックを開催します。



◆基本施策２◆　スポーツ推進委員との連携・共働の推進

スポーツ推進委員と共働し、地域住民がスポーツに身近に触れることができる環境づくりに取り組みます。

取組事業の例

ニュースポーツ大会の開催

各区において、地区対抗のニュースポーツ大会や運動会を開催し、スポーツ振興や地域コミュニティの活性化を図ります。







スポーツ推進委員によるコーディネーター活動に対する支援

スポーツ推進委員主催による大会や地域スポーツ振興に係る事業実施の連絡調整を支援します。

◆基本施策３◆　地域や企業、他分野との連携・共働の推進

静岡型スポーツ・イン・ライフ推進パートナー認定企業・団体等の民間事業者や他分野との連携・共働事業を実施することで、市民がスポーツに触れる機会を創出するとともに、地域や職場でのスポーツ活動やコミュニティの活性化につなげます。

取組事業の例

民間事業者と連携したスポーツイベントの実施

民間事業者と連携して各種スポーツイベントを開催するとともに、民間事業者による公共施設を活用したスポーツの推進に係る事業の実施を促進します。

◆基本施策４◆　学生との連携・共働の推進

大学等と連携・共働し、スポーツイベントや地域活動への学生参画を促進することで、スポーツによる地域活性化や次世代の担い手の育成を図ります。

取組事業の例

スポーツを活用した若者定着プロジェクト

企業、大学、ホームタウンチーム、行政が連携し、スポーツを通じて学生が地域や企業と継続的に関わることができる「地域型キャリア形成コミュニティ」を構築することで、スポーツを通じた関係人口拡大と若者の地域定着を図ります。

「静岡型スポーツ・イン・ライフ推進パートナー認定制度」

静岡市では、「する・みる・ささえる」という３つのスポーツの楽しみ方に、スポーツ庁の「Sport in Life」の考え方を取り入れた「静岡型スポーツ・イン・ライフ」を推進しています。

本制度では、従業員や構成員のスポーツ活動を支援・促進する企業・団体の取組を募集し、優れた取組を認定・表彰するとともに、広く市民に発信します。これにより、企業・団体におけるスポーツ活動の充実と、「静岡型スポーツ・イン・ライフ」の普及を図ります。

2026 年表彰企業

大賞／株式会社天野回漕店

清水エスパルスの協力による理学療法士の健康講座や運動プログラム、ウォーキングイベントを開催。



優秀賞／株式会社 VELTEX スポーツエンタープライズ

株式会社竹屋旅館 Shimizu CROSS



基本方針４　ユニバーサルスポーツの聖地化の推進による共生社会の実現

指標　庵原地区におけるスポーツ施設利用者数
現状値（2025 年度）406,062 人 ⇒　目標値（2030 年度）430,000 人
⇒　目標値（2035 年度）450,000 人
指標設定理由　誰もが利用しやすいスポーツ環境の整備状況やユニバーサルスポーツの拠点としての広がりを測るため、庵原地区スポーツ施設利用者数を指標として設定する。

清水区庵原地区を中心にユニバーサルスポーツの拠点を整備するとともに、統括団体と連携した取組を展開することで、人々が日常的に「あつまり」、地域や多世代との「つながり」を育みながら、誰もがスポーツを楽しめる共生社会の実現を目指します。

◆基本施策１◆　スポーツ施設のバリアフリー化

スポーツ施設のバリアフリー化を推進し、年齢や障がいの有無にかかわらず、誰もがスポーツに参加できる環境を整備します。

取組事業の例

清水庵原屋内運動場の新設

「ちゅ～るスタジアム清水」敷地内に障がいのある方が優先的に利用できる屋内運動場を整備し、ユニバーサルスポーツの競技環境を充実させます。

写真

庵原地区内各スポーツ施設の改修

「清水ナショナルトレーニングセンター」や「清水清見潟公園スポーツセンター」等、庵原地区のスポーツ施設の改修にあわせてバリアフリー化を推進し、ユニバーサルスポーツの拠点形成を図ります。

写真

◆基本施策２◆　ユニバーサルスポーツ統括団体との連携・共働

ユニバーサルスポーツ統括団体と連携・共働し、ユニバーサルスポーツの普及啓発や人材育成を進めることで、「ユニバーサルスポーツの聖地化」を推進します。

取組事業の例

ユニバーサルスポーツしずおか連携事業

一般社団法人ユニバーサルスポーツしずおかと連携し、ユニバーサルスポーツフェスタやスポーツ教室の開催、指導員の育成・活用を通じて、誰もがスポーツを楽しめる環境づくりを推進します。



◆基本施策３◆　ユニバーサルスポーツの交流・体験機会創出

ユニバーサルスポーツフェスタや体験会の開催を通じて、市民のユニバーサルスポーツへの理解促進と参加機会の創出を図ります。

取組事業の例

ユニバーサルスポーツフェスタ等の開催

ボッチャやフライングディスクなどのユニバーサルスポーツを体験できるユニバーサルスポーツフェスタや体験会を開催し、多様な人々が交流する機会を創出します。



◆基本施策４◆　教育機関との連携による共生社会への理解促進

教育機関と連携し、ユニバーサルスポーツの体験・交流機会を充実させることで、障がいの有無等にかかわらず互いを理解し支え合う共生社会への理解を促進します。

取組事業の例

学校訪問

パラスポーツ指導員等を学校へ派遣し、児童・生徒を対象とした講座・体験会を開催することで、多様性への理解と共生社会への意識醸成を図ります。



ユニバーサルスポーツの聖地を目指して

静岡市では、清水区庵原地区を中心に「ユニバーサルスポーツの聖地化」を推進しています。庵原地区には、IAI パラスポーツパークや清水ナショナルトレーニングセンター(J-STEP)、ちゅ～るスタジアム清水など、多様なスポーツ施設が集積しており、この地域特性を生かしながら、障がいの有無や年齢、性別、国籍を問わず、誰もがスポーツを楽しめる環境づくりを進めています。

今後は、施設のバリアフリー化やパラスポーツを支える人材・団体の育成、大会や合宿の誘致、ホームタウンチームや企業、大学等との連携を進めることで、スポーツを起点とした共生社会の実現と地域活性化を目指します。

こうした取組は、「スポーツ・健康まちづくり」優良自治体表彰(スポまち！表彰 2025)において、全国 18 自治体の中から唯一の最高賞である「スポーツ庁長官特別賞」を受賞しました。スポーツを通じて社会的価値と経済的価値を生み出す先進的なまちづくりとして高く評価されており、静岡市は全

基本方針５　スポーツ資源を活用した地域経済の活性化と地域の魅力向上

指標　スポーツイベントにおける県外からの来訪者の割合
現状値(2025 年度) 57.1% ⇒　目標値(2030 年度) 65%
⇒　目標値(2035 年度) 70%
指標設定理由　スポーツイベントへの県外来訪者の増加は、宿泊や飲食など地域消費の拡大につながることから、スポーツによる交流人口の拡大や地域経済への波及効果を測る指標として設定する。

市内スポーツ資源を活用し、地域の魅力向上、活力の醸成を推進します。あわせて、合宿・大会の誘致やスポーツ施設の民間活用、「みるスポーツ」の拡大を通じて、来訪・滞在を促進し、地域経済の循環を創出します。

◆基本施策１◆　スポーツによるまちづくりの推進

静岡市アリーナをはじめとするスポーツ施設を地域の交流拠点として活用し、スポーツによる賑わい創出や地域活性化につながるまちづくりを推進します。

取組事業の例

JR 東静岡駅周辺地区におけるアリーナ整備



東静岡駅周辺地区において、スポーツ・エンターテインメントを核とした新たな交流拠点となる静岡市アリーナ整備を推進します。B リーグや SV リーグなどのトップスポーツをはじめ、多様なスポーツ・文化イベントの開催により、市民がスポーツを「みる」機会を創出するとともに、市内外からの誘客による交流人口の拡大や地域経済の活性化を図ります。また、防災機能やにぎわい創出機能を備えた施設として、スポーツを核とした持続可能なまちづくりを推進します。

JR 清水駅東口地域づくりエリアの整備

JR 清水駅東口地域づくりエリアにおいては、富士山や駿河湾を望む立地特性や交通利便性を活かし、スポーツ、文化、観光、商業などの都市機能が融合した「超スマートガーデンシティ」の実現に向けたまちづくりを推進します。

◆基本施策２◆　全国大会の開催支援や合宿の誘致

国際大会や全国大会などの開催支援や合宿の誘致によって、静岡市を訪れた人と市民との交流により賑わいを創出し、地域の活性化につなげます。

取組事業の例

全国少年少女草サッカー大会の開催支援

全国少年少女草サッカー大会の開催を支援するほか、大会参加者へ「サッカーのまち静岡」の情報を発信します。さらに、大会の開催を通じて、小学生の選手育成及び全国から集まる選手との交流を深めます。



合宿の誘致及び受入れ

主に国内における各種競技のトップチームを対象として、合宿の誘致活動の実施及び受入時の支援をすることで、継続的な合宿の受入を目指すとともに、地域経済の活性化を図ります。

◆基本施策３◆　スポーツを通じたシティプロモーション

ホームタウンチームや各種スポーツ資源を活用したシティプロモーションを展開し、交流人口・関係人口の拡大と都市ブランドの向上を図ります。

取組事業の例

静岡マラソンの開催支援

市民のスポーツ実施意欲の向上や健康増進を図るとともに、市内外から多くの参加者や観戦者を呼び込み、交流人口の拡大や地域経済の活性化につなげます。



◆基本施策４◆　【再掲】ホームタウン活動の推進によるみるスポーツの拡大

ホームタウンチームの活動を通じて市民とスポーツとの接点を増やし、観戦機会の充実や応援機運の醸成により、「みるスポーツ」の拡大を図ります。

取組事業の例

プロスポーツチーム等連携プロジェクト（再掲）

静岡市をホームタウンとするプロスポーツチーム等の活用・支援を通じて、地域の一体感や市民の共感を呼び起こし、社会全体の共働・共創によるまちづくりを推進します。

写真

スポーツの成長産業化

スポーツは健康づくりや生きがいづくりに加え、地域経済を支える産業としても大きな可能性を有しています。国は「スポーツの成長産業化」を重要政策に位置付け、スポーツ市場の拡大と、その収益をスポーツ環境へ再投資する好循環の実現を目指しています。スポーツ庁は、第３期スポーツ基本計画において、スポーツ市場を拡大し、スポーツを通じた地域活性化や新たな価値創出を推進する方針を示しています。

静岡市には、多くのホームタウンチームや豊富なスポーツ施設、スポーツイベント等の地域資源があります。これらの資源を活用しながら、企業や大学、地域団体との連携を進めることで、市民のスポーツ参加の促進に加え、人材育成、企業価値向上、観光振興、新たなビジネス創出など、多様な効果が期待されます。スポーツを「する」「みる」「ささえる」だけでなく、「稼ぐ」「つなぐ」視点を取り入れることで、スポーツを地域の持続的な成長につなげていくことが重要です。

スポーツ庁・経済産業省によると、
スポーツ市場規模は 2015 年の 8.7 兆円から
2019 年には 10.2 兆円まで成長しました。
コロナ禍の影響を受けたものの、
2021 年には約 10.0 兆円まで回復しており、
2030 年までに 15 兆円市場を目指しています。

グラフ

（スポーツ市場規模の推移）

第４章　表紙

１．公益財団法人　静岡市スポーツ協会

静岡市スポーツ協会は、静岡市におけるスポーツの普及・振興を図り、スポーツの精神を培い、市民の健康・体力づくりを推進し、もって健康で豊かな市民生活の育成に寄与することを目的に設立された市の外郭団体です。

静岡市のスポーツの普及･振興を図り、「スポーツを通じて、市民の健康を増進するとともに地域経済を活性化するまちにします」というスポーツ推進計画の基本理念の達成に向けて、協会が保有するネットワークやノウハウを活用して、市民の運動・スポーツ実施率の向上に資する取組を積極的に行います。

スポーツ推進計画における役割

（１）誰もが参加できるスポーツ機会の創出

年齢や性別、障がいの有無等に関わらず、すべての市民が参加可能なスポーツ機会を協会の加盟団体やスポーツ関連団体との共働により創出します。

スポーツを支えるための人づくりでは、競技人口の拡大や技術力の向上への取組団体や事業への支援、スポーツ指導者の養成及び活動支援、表彰に関する事業を実施します。

スポーツを支えるための場づくりでは、市民の健康及び体力づくりを推進するスポーツイベント及びスポーツ教室の開催や加盟団体と連携した教室や指導者を派遣する教室の開催、種目別市民スポーツ大会を実施します。

（２）スポーツを通じた地域経済の活性化の推進

地域スポーツ推進における中核組織として、市民や関係団体などの多様な主体と連携し、静岡市が目指す「スポーツ資源を活用した地域経済の活性化」に協力します。

協会が保有するスポーツ資源を活用した取組の立案及び実施やスポーツと他分野との融合による社会課題の解決に資する取組を実施します。

２．公益財団法人　静岡市まちづくり公社

静岡市まちづくり公社は、まちづくり支援事業、スポーツ・健康増進事業、文化教養事業、コミュニティの場の提供等を通じて、健やかで文化的な市民生活の向上と快適な地域社会の実現を図り、もって活き活き暮らせる静岡市の創造に寄与することを目的に設立された市の外郭団体です。

スポーツについては、施設管理面で安全・安心を第一に、市民からトップスポーツまで幅広い利用に対応し、プロチーム等のキャンプ対応は各チーム・選手より好評を得ています。また、地域イベントにも企画段階から積極的に参加し、多様性ある施設の活用に寄与しています。

スポーツ推進計画における役割

（１）ユニバーサルスポーツの推進

誰もがともに楽しめる「ユニバーサルスポーツ」を推進するため、パラスポーツ団体の利用受入れや関係団体との連携を進め、多様な人々が安心してスポーツに参加できる環境を整備します。また、子どもから高齢者まで、ライフステージや利用者ニーズに応じた教室・プログラムを展開し、誰もが気軽にスポーツに親しみ、楽しむことができる機会を提供することで、ユニバーサルスポーツの推進に貢献します。

（２）地域資源の活用

管理する施設の立地、周辺の自然環境、静岡市の地域資源を活かし、近隣住民はもとより、市民ニーズに応える様々な自主事業を実施し、スポーツを楽しむ機会を創出し、スポーツ実施率の向上に努めます。

３．一般社団法人ユニバーサルスポーツしずおか

一般社団法人ユニバーサルスポーツしずおかは、障がいのある人もない人も共に楽しみ、誰もが主役になれるユニバーサルスポーツを通じて、相互理解と多様性を尊重し合える共生社会の実現を目指す団体です。

スポーツ教室や大会の開催、関係団体との連絡調整等に取り組み、静岡市と連携・共働しながら、ユニバーサルスポーツの普及・振興を推進し、誰もがスポーツに親しめる環境づくりを進めます。

スポーツ推進計画における役割

（１）ユニバーサルスポーツの交流・体験機会の創出

障がいの有無にかかわらず、誰もが気軽に参加できるスポーツ教室やフェスティバル、巡回教室等を実施し、市民が日常的にユニバーサルスポーツに親しめる機会を創出します。

また、学校等におけるスポーツ体験と学びを組み合わせた取組を通じて、障がいや多様な個性への理解を深め、共生社会への理解促進につなげます。

（２）ユニバーサルスポーツを支える人づくり

スポーツ推進委員や学生ボランティア等と連携し、教室やイベントにおける活動機会の充実を図るとともに、ユニバーサルスポーツに関わる指導者及び支援人材の育成・活用を進めます。

（３）多様な主体との連携・共働による共生社会の実現

静岡市、学校、福祉施設、競技団体、ホームタウンチーム、企業、地域団体等との連携体制を構築し、スポーツを通じて多様な人が「あつまり、つながる」機会を創出します。

清水区庵原地区を中心としたユニバーサルスポーツの聖地化に向け、関係団体との連携・共働により取組を推進し、誰もがスポーツを楽しめる環境づくりと共生社会の実現を目指します。

４．民間事業者

静岡市のスポーツ施設では、2006 年度から指定管理者制度を導入し、効率的な管理運営を通じて、経費削減、市民サービスの向上を実現してきました。

多様化する市民ニーズや急速に変化する社会経済環境に柔軟かつ迅速に対応するためには、民間事業者が有する知識、技術、ノウハウ、機動力を幅広く取り入れることが重要です。今後は、先駆的・創造的な取組を行う民間事業者との連携・共働を一層推進します。

５．スポーツ推進委員

スポーツ推進委員は、各地区からの推薦に基づき静岡市が委嘱する非常勤公務員であり、地域住民や関係団体、行政をつなぐ役割を担いながら、静岡市のスポーツ振興を支えています。

地域における多様な主体との連携・共働のもと、スポーツの普及・振興に資する事業を実施し、市民の健康増進や地域交流の促進に取り組んでいます。

スポーツ推進計画における役割

（１）ライフスタイルに応じたスポーツの推進

ファミリーバドミントンやボッチャなどのニュースポーツ・ユニバーサルスポーツの体験会や交流大会を開催し、市民がそれぞれのライフスタイルに応じて気軽にスポーツに親しめる機会を提供します。

（２）多様な主体との共働・共創によるスポーツの推進

多様な人や団体が「あつまり、つながる」機会を創出するため、静岡市と共働して「誰もが気軽に参加できる」スポーツイベントを開催するとともに、市内で開催される各種イベントへのスポーツ体験ブースの出展等を通じて、多様な主体との交流や市民がスポーツに触れる機会の充実を図ります。

６．ホームタウンチーム

静岡市では、次に挙げる３点を充足しているスポーツチームを「ホームタウンチーム」と呼んでいます。

①静岡市を本拠地として活動していること

②各スポーツ種目の国内トップリーグ等に加盟している、または加盟を目指していること

③静岡市のスポーツ振興をはじめ、児童の健全育成やコミュニティ機能の向上、まちの賑わい創出、シティプロモーション等、スポーツを活かしたまちづくり・人づくりに資する取組を静岡市と連携・共働して実施すること

現在活動しているホームタウンチームは、８チームあります。

ホームタウンチーム一覧（五十音順）

SHIZUOKA JADE	静岡ジェード （男子卓球／Ｔリーグ）
SHIZUOKA BlueRevs	静岡ブルーレヴズ （男子ラグビー／リーグワン）
S-PULSE	清水エスパルス （男子サッカー／Ｊリーグ）
SHIMIZU Daihachi Pleiades	清水第八プレアデス （女子サッカー）
CHANSON V-MAGIC	シャンソン化粧品シャンソンＶマジック （女子バスケットボール／Ｗリーグ）
SEIKO SOLFEGGIO	静甲ソルフェジオ （女子ソフトボール／日本女子ソフトボールリーグ）

HAYATE	ハヤテベンチャーズ静岡 （男子野球／ファーム・リーグ）
VELTEX SHIZUOKA	ベルテックス静岡 （男子バスケットボール／B リーグ）

市内スポーツ施設一覧

葵区…■(緑)　駿河区…■(赤)　清水区…■(青)

施　設　名	所　在　地	設　備		主な利用
中央体育館	葵区駿府町2番80号	アリーナ	61.0m×40.0m (2,440㎡)	バスケットボール　3面 バレーボール　4面 バドミントン　12面 テニス　4面 卓球　45台
		剣道場	18.8m×14.7m (276.36㎡)	剣道
		柔道場	18.5m×14.7m (271.95㎡)	柔道
		トレーニング場	8.8m×15.3m (134.64㎡)	トレーニング機器
		卓球場	18.8m×15.3m (287.64㎡)	卓球　8台
		弓道場	射距離28.0m 17m×36m　(612㎡)	弓道(近的)10人立
		軽運動室	11.9m×7.5m(89.25㎡) 姿見、バー	軽運動
		屋内プール	大プール　25m×18m (8コース) 小プール　18m×9m	水泳
南部体育館	駿河区曲金三丁目1番30号	アリーナ	32.9m×38.9m (1,279.81㎡)	バスケットボール　2面 バレーボール　3面 バドミントン　6面 テニス　2面 卓球　27台
		剣道場	17.8m×13.2m (234.96㎡)	剣道
		柔道場	17.8m×13.2m (234.96㎡)	柔道
		トレーニング場	16.6m×11.5m (190.9㎡)	油圧式、デジタル式トレーニング機器
		卓球場	13.5m×11.5m (155.25㎡)	卓球　8台
長田体育館	駿河区鎌田574番地の1	アリーナ	38.9m×33.1m (1,287.59㎡)	バスケットボール　2面 バレーボール　3面 バドミントン　6面 テニス　2面 卓球　24台
		剣道場	13.2m×13.0m (171.6㎡)	剣道
		柔道場	15.0m×13.3m (199.5㎡)	柔道

葵区…■(緑)　駿河区…■(赤)　清水区…■(青)

施　設　名	所　在　地	設　備		主な利用
		トレーニング場	13.0m×11.9m (154.7㎡)	油圧式、デジタル式トレーニング機器
		卓球場	16.8m×11.9m (199.92㎡)	卓球　8台
東部体育館	葵区東千代田二丁目3番1号	アリーナ	38.9m×32.9m (1,279.81㎡)	バスケットボール　2面 バレーボール　3面 バドミントン　6面 テニス　2面 卓球　24台
		武道場等	22.9m×13.5m (309.15㎡)	柔道、剣道、卓球
		トレーニング場	13.0m×11.5m (149.5㎡)	油圧式、デジタル式トレーニング機器
北部体育館	葵区松富四丁目14番1号	アリーナ	46.0m×40.0m (1,840㎡)	バスケットボール　2面 バレーボール　3面 ハンドボール　1面 バドミントン　8面 テニス　3面 卓球　30台
		剣道場	27.0m×18.0m (486㎡) 選手控席　50席	剣道
		柔道場	27.0m×18.0m (486㎡) 選手控席　50席	柔道
		トレーニング場	18.3m×11.7m (214.11㎡) 体力測定室(21.5㎡) 健康相談室(21.5㎡) 併設	油圧式
		卓球場	18.3m×12.2m (223.26㎡)	卓球　8台
		弓道場 (近的)	射距離28.0m 選手控席　50席	弓道(近的)9人立
		弓道場 (遠的)	射距離60.0m	弓道(遠的)9人立
由比体育館	清水区由比456番地の151	アリーナ	1,029.79㎡	バレーボール　2面 バスケットボール　2面 バドミントン　3面 テニス　2面
		卓球場	254.56㎡	卓球　2台

葵区…■(緑)　駿河区…■(赤)　清水区…■(青)

施設名	所在地	設備		主な利用
蒲原体育館	清水区蒲原新田一丁目21番1号	アリーナ	23.982m×35.25m (845.37㎡)	バレーボール 6人制　2面 9人制　1面 バスケットボール　1面 バドミントン　4面 テニス　1面
西ケ谷総合運動場	葵区西ケ谷8番地の1	陸上競技場	トラック 1周400m　8コース フィールド 人工芝(66m×101m) 練習コース 直線75m×3コース 走幅跳練習場　1ヵ所 ジョギングコース 1周620m	陸上 サッカー ラグビー 各種レクリエーション
		野球場	人工芝 中堅　120m 両翼　94m	野球 各種レクリエーション
		テニスコート	全天候型砂入り 人工芝コート	テニス　6.5面 (内、壁打ちコート0.5面)
		屋内プール	大プール 25m×17m　8コース 小プール(ウォータースライダー)	水泳
		ターゲットバードゴルフ場	9ホール PAR 27	ターゲットバードゴルフ
		グラウンドゴルフ場	8ホール	グラウンドゴルフ
		ローラースポーツパーク	面積　2,000㎡	インラインスケート スケートボード BMX
清水総合運動場	清水区清開二丁目1番1号	陸上競技場	トラック 1周400m　8コース 全天候型 水濠 フィールド 天然芝(68m×105m)	3,000m障害・走高跳・走幅跳・三段跳・棒高跳・砲丸投・円盤投・槍投
		体育館	面積　1,829.90㎡	バスケットボール　2面 バレーボール　3面 ハンドボール　1面 バドミントン　8面 テニス　2面
		水泳場	50mプール　9コース 25mプール　7コース 直径20m円形プール	水泳
		アーチェリー場	射距離 30m、50m、70m	アーチェリー

葵区…■(緑)　駿河区…■(赤)　清水区…■(青)

施設名	所在地	設備		主な利用
		弓道場	射距離28.0m	弓道(近的)6人立
		武道場	柔道・剣道兼用道場の2面(間仕切りあり)	柔道 剣道 空手 なぎなた ダンス
		多目的グラウンド	面積　3,654㎡	
清水日本平運動公園	清水区村松3880番地の1	球技場	芝・暖地型ティフトン・ウインターオーバーシード	サッカー ラグビー
		庭球場	砂入り人工芝コート	テニス　8面
清水庵原球場	清水区庵原町3000番地	本球場	中堅　122m 両翼　100m バックネット　20m 内野　クレー 外野　天然芝	硬式野球 軟式野球 ソフトボール
		第２球場	中堅　117m 両翼　97m バックネット　8m 内野・外野　クレー	
清水庵原屋内運動場	清水区庵原町3000番地	屋内運動場	面積　約2,000㎡	フットサル 野球 ブラインドサッカー 各種レクリエーション
清水清見潟公園スポーツセンター	清水区横砂408番地の38	体育館	34m×27m(918㎡)	バスケットボール　1面 バレーボール　2面 バドミントン　4面
		室内プール	25m　6コース	水泳
		トレーニング室		トレーニング機器
清水蛇塚スポーツグラウンド	清水区蛇塚30番地の5	天然芝コート (北)122m×77m (南)109m×73m		サッカー　2面
中島人工芝多目的スポーツグラウンド	駿河区中島1711番地の1	人工芝コート		サッカー 1面(105m×68m) フットサル 2面（42m×22m）
清水ナショナルトレーニングセンター(J-STEP)	清水区山切1487番地の1	センターハウス	トレーニングルーム	トレーニング フィットネス
			クアプール	水泳 アクアトレーニング リラクゼーション

葵区…■(緑)　駿河区…■(赤)　清水区…■(青)

施設名	所在地	設備		主な利用
			アリーナ 33m×30m(990㎡)	バスケットボール　2面 バレーボール　2面 バドミントン　5面
			宿泊室、大浴場	合宿
			会議室	
		天然芝グラウンド	(東)110m×73m (西)145m×73m	サッカー　2面
		人工芝コート	(1面)43m×23m	フットサル　2面
		ジョギングコース	1周約800m	ジョギング
		ウェイトリフティング練習場		ウェイトリフティング
ふれあい健康増進館 ゆ・ら・ら	葵区南沼上1379番地の1	温水プール リバープール(100m) リラクゼーションプール キッズプール ジャグジー トレーニング室		水中ウォーキング
清水長崎新田スポーツ広場	清水区長崎新田207番地	スポーツ交流センター	軽運動室 体育室 多目的室 和室	卓球　13台 フィットネス ダンス 各種レクリエーション
		テニスコート	ゴムチップウレタン	テニス　3面
		スポーツ広場	100m×65m	サッカー　1面 ソフトボール　2面
城北運動場	葵区大岩町1番20号	テニスコート	砂入り人工芝コート	テニス　6面
		相撲場		相撲
		運動広場		ゲートボール等
		多目的室		
有度山総合公園運動施設テニスコート	駿河区小鹿1883番地の4	砂入り人工芝コート		テニス　10面
		多目的室		
有度山総合公園	駿河区小鹿2106番地	ターゲットバードゴルフ場	9ホール PAR 27	ターゲットバードゴルフ

葵区…■(緑)　駿河区…■(赤)　清水区…■(青)

施設名	所在地	設備		主な利用
運動施設 ターゲットバードゴルフ場 グラウンドゴルフ場		グラウンドゴルフ場	12ホール 設定万能	グラウンドゴルフ
蒲原東部コミュニティセンター	清水区蒲原4980番地の10	ホール	604.8㎡	バレーボール 1面 バドミントン 2面 バスケットボール 1面
蒲原西部コミュニティセンター	清水区蒲原堰沢455番地の1	ホール	291.84㎡	バレーボール 1面 バドミントン 1面 ミニバスケットボール 1面
山崎スポーツ広場	葵区山崎一丁目４－30地先 安倍川河川敷	野球場 ソフトボール場		野球 2面 ソフトボール 5面
田町安倍中スポーツ広場	葵区田町七丁目地先 安倍川河川敷	野球場 陸上広場		野球 1面 サッカー 1面 陸上
東新田スポーツ広場	駿河区東新田二丁目251－９地先 安倍川河川敷	少年野球場		少年野球 1面
堤町スポーツ広場	葵区秋山町335-411地先 安倍川河川敷	野球場		野球 2面
伝馬町新田スポーツ広場	葵区美川町地先 安倍川河川敷	野球場		野球 1面
田町緑地スポーツ広場	葵区田町二丁目地先 安倍川河川敷	ソフトボール場 多目的広場		ソフトボール 6面
柳町スポーツ広場	葵区柳町地先 安倍川河川敷	サッカー場		サッカー 2面
狩野橋スポーツ広場	葵区与一四丁目335-726番地地先 安倍川河川敷	野球場		野球 2面
松富スポーツ広場	葵区松富上組字水神46-11番地先 安倍川河川敷	野球場		野球 1面
由比川河川敷スポーツ広場	清水区由比官有無番地 由比川河川敷	テニスコート ジョギングコース 多目的広場		テニス 4面 ジョギング
富士川河川敷スポーツ広場	清水区蒲原字地震山下地先 富士川河川敷	野球場 サッカー場 ソフトボール場 多目的広場		野球 2面 サッカー 2面 ソフトボール 2面
富士川緑地公園スポーツ広場	清水区蒲原向島地先 富士川河川敷	野球場 サッカー場 ソフトボール場 テニスコート		野球 1面 サッカー 5面 ソフトボール 4面 テニス 4面

葵区…■(緑)　駿河区…■(赤)　清水区…■(青)

施設名	所在地	設備	主な利用
恩田原スポーツ広場	駿河区恩田原82番地	ソフトボール場(少年野球場) サッカー場	ソフトボール　2面 少年野球 サッカー　1面 グラウンドゴルフ
清水草薙スポーツ広場	清水区草薙350番地の1	野球場 ソフトボール場	野球　1面 ソフトボール　2面
清水三保貝島スポーツ広場	清水区三保4025番地の24	野球場 ソフトボール場	野球　2面 ソフトボール　2面
清水宍原スポーツ広場	清水区宍原185番地の1	野球場 サッカー場 ソフトボール場	野球　2面 サッカー　2面 ソフトボール　4面
清水桜が丘公園スポーツ広場	清水区桜が丘町300番地	ソフトボール場	ソフトボール　2面
清水桜が丘公園庭球場	清水区桜が丘町300番地	クレーコート	テニス　4面
横砂テニス広場	清水区横砂408番地の15	砂入り人工芝コート	テニス　6面
中島テニス広場	駿河区中島2589番地の5	クレーコート	テニス　6面
由比プール	清水区由比421番地の19	大プール26m×14m　最深1.2 m 小プール円形(直径11m)　最深0.75m	水泳
蒲原プール	清水区蒲原新田一丁目199番地の20	大プール25m×13m　最深1.1m 小プール13m× 6m　最深0.75m	水泳
清水駅東口クライミング場	清水区島崎町219番地	クライミングウォールA　6m×12m クライミングウォールB　6m×2m	クライミング
梅ケ島キャンプ場	葵区梅ヶ島3198番地地先	バンガロー　5棟(10人収容) テントスペース　50張 管理棟　1棟 避難棟　1棟(110人収容)	キャンプ
玉川キャンプセンター	葵区長妻田755番地	大バンガロー　2棟(10人収容) 小バンガロー　2棟(6人収容) 宿泊棟　1棟 管理棟　1棟	キャンプ
駿府城ラン・アンド・リフレッシュステーション	葵区駿府町2番80号	更衣室 交流スペース	ランニング ウォーキング